

平成28年度
第4回市政モニターアンケート

「3R(リデュース・リユース・リサイクル)に関する市民意識調査」
について

北九州市市民文化スポーツ局広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1) レジ袋削減の認知度について	2
(2) レジ袋を削減する取組みについて	3
(3) レジ袋を断らずもろう理由について	4
(4) 小売店が実施するレジ袋削減策のうち効果的な取組みは	5
(5) 食品ロスの認知度について	7
(6) 食品ロスを減らす意識について	8
(7) 「残しま宣言」の認知度について	9
(8) 「賞味期限」「消費期限」の認知度について	10
(9) 家庭で食品ロスが発生する原因について	11
(10) 外食事に食品ロスが発生する原因について	12
(11) 「フードバンク活動」の認知度について	13
(12) 「フードバンク活動」への寄付について	14
(13) 「フードバンク活動」へ寄付をためらう理由	15
(14) 生ごみコンポスト化の取組みについて	16
(15) 生ごみコンポスト化の取組みの継続について	17
(16) 生ごみコンポスト化の取組まない理由	18
(17) 「余った生ごみ堆肥の回収」事業の開始と生ごみコンポスト化	19
(18) 「リユース（再使用）」の認知度について	20
(19) 「リユース」の取組みについて	21
(20) 「リユース」に取り組まない理由	22
(21) 古着リサイクル事業の認知度について	23
(22) 古着リサイクル事業の利用について	24
(23) 古着リサイクル事業を利用した場所について	25
(24) 古着リサイクル事業を利用しない理由	26
(25) 小売店で古着を下取りに出したことの有無	27
(26) 今後着る見込みのない服の有無	28
(27) 「家電リサイクル協力店」の認知度について	29

(28)	無料回収業者の利用上のトラブルの有無について	30
(29)	「雑がみ」のリサイクルについて	31
(30)	「雑がみ」を分別していない理由について	32
(31)	水銀体温計・水銀血圧計の有無について	33
(32)	水銀体温計・水銀血圧計の利用について	34
(33)	現在も水銀体温計を利用している理由	35
(34)	スプレー缶の処理方法の認知度について	36
(35)	スプレー缶の処理方法について	37
(36)	ごみ処理・リサイクルに対する意見など	38

IV	全体考察	41
----	------	----

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター	149人
回答者数	134人	(回収率 89.9%)
調査実施日	平成28年8月12日～平成28年8月31日	
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査	
調査実施課	市民文化スポーツ局広聴課	TEL 582-2527
調査依頼課	環境局循環社会推進課	TEL 582-2187

II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	149 (100.0%)	47 (31.5%)	102 (68.5%)	区 別			
				門司区	16 (10.7%)	5 (3.4%)	11 (7.4%)
20歳代	17 (11.4%)	2 (1.3%)	15 (10.1%)	小倉北区	26 (17.4%)	6 (4.0%)	20 (13.4%)
30歳代	23 (15.4%)	6 (4.0%)	17 (11.4%)	小倉南区	31 (20.8%)	11 (7.4%)	20 (13.4%)
40歳代	28 (18.8%)	5 (3.4%)	23 (15.4%)	若松区	16 (10.7%)	12 (8.1%)	4 (2.7%)
50歳代	20 (13.4%)	7 (4.7%)	13 (8.7%)	八幡東区	12 (8.1%)	2 (1.3%)	10 (6.7%)
60歳代	33 (22.1%)	12 (8.1%)	21 (14.1%)	八幡西区	39 (26.2%)	6 (4.0%)	33 (22.1%)
70歳以上	28 (18.8%)	15 (10.1%)	13 (8.7%)	戸畑区	9 (6.0%)	5 (3.4%)	4 (2.7%)

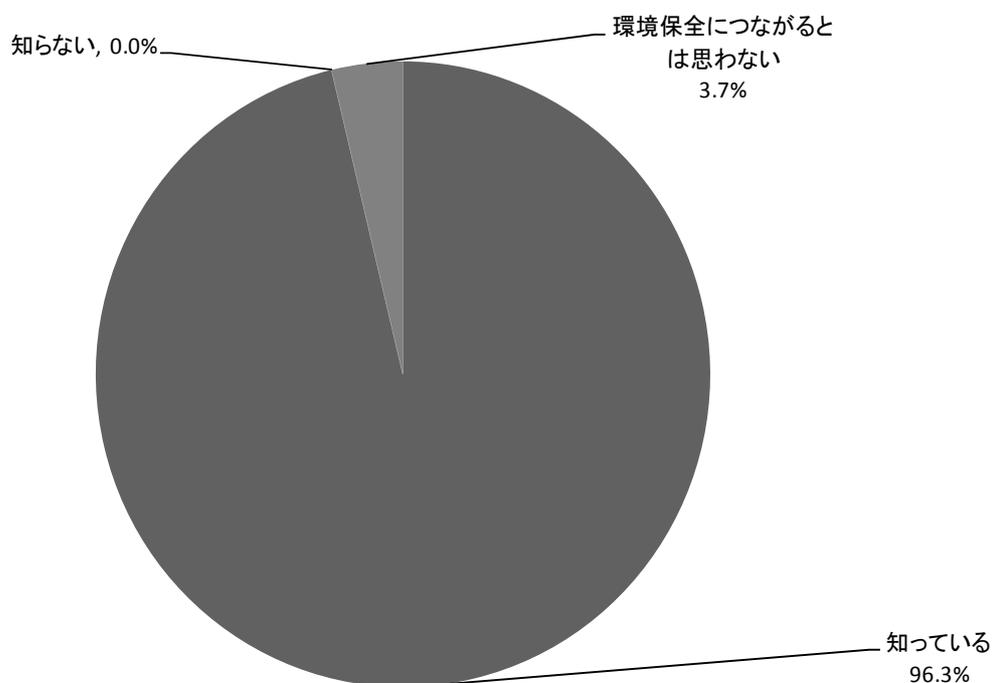
※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

【レジ袋削減について】

問1 レジ袋削減に取り組むことが、環境保全につながることを知っていますか。

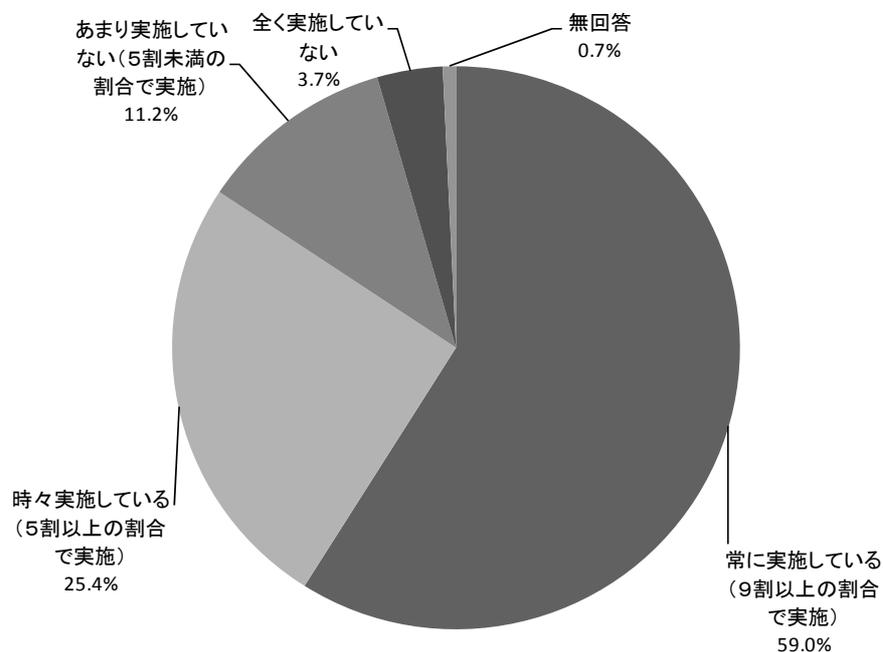
※1つのみ回答



		回答者数	知っている	知らない	環境保全につながると思わない
全体		134	96.3%	0.0%	3.7%
性別	男性	44	90.9%	0.0%	9.1%
	女性	90	98.9%	0.0%	1.1%
年齢別	20歳代	13	92.3%	0.0%	7.7%
	30歳代	21	90.5%	0.0%	9.5%
	40歳代	23	100.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	20	95.0%	0.0%	5.0%
	60歳代	29	96.6%	0.0%	3.4%
	70歳以上	28	100.0%	0.0%	0.0%

レジ袋削減に環境保全効果があることについて、全ての年代において、ほぼ全員が「知っている」という結果であった。

問2 買い物の際にマイバッグを持参するなど、レジ袋を削減するような取組みを実施していますか。※1つのみ回答

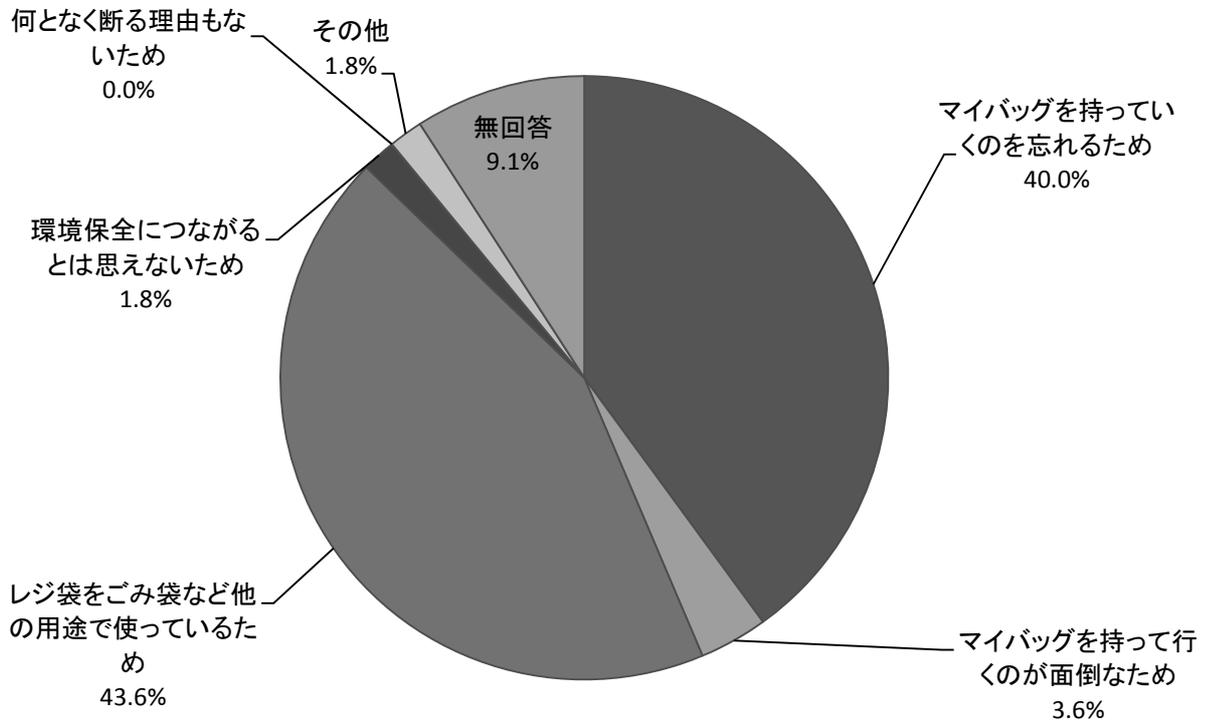


		回答者数	常に実施している (9割以上の割合で実施)	時々実施している (5割以上の割合で実施)	あまり実施していない (5割未満の割合で実施)	全く実施していない	無回答
全体		134	59.0%	25.4%	11.2%	3.7%	0.7%
性別	男性	44	47.7%	22.7%	15.9%	11.4%	2.3%
	女性	90	64.4%	26.7%	8.9%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	13	46.2%	38.5%	7.7%	7.7%	0.0%
	30歳代	21	42.9%	38.1%	14.3%	4.8%	0.0%
	40歳代	23	52.2%	34.8%	13.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	20	55.0%	15.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	60歳代	29	75.9%	10.3%	10.3%	3.4%	0.0%
	70歳以上	28	67.9%	25.0%	3.6%	0.0%	3.6%

買い物時のマイバッグ持参率について、常に持参している割合は、60歳代が75.9%と最も高く、5割以上の頻度で持参する割合は、全ての年代で70%以上であった。

<問2で「1 常に実施している（9割以上の割合で実施）」以外を選んだ方にお尋ねします。>

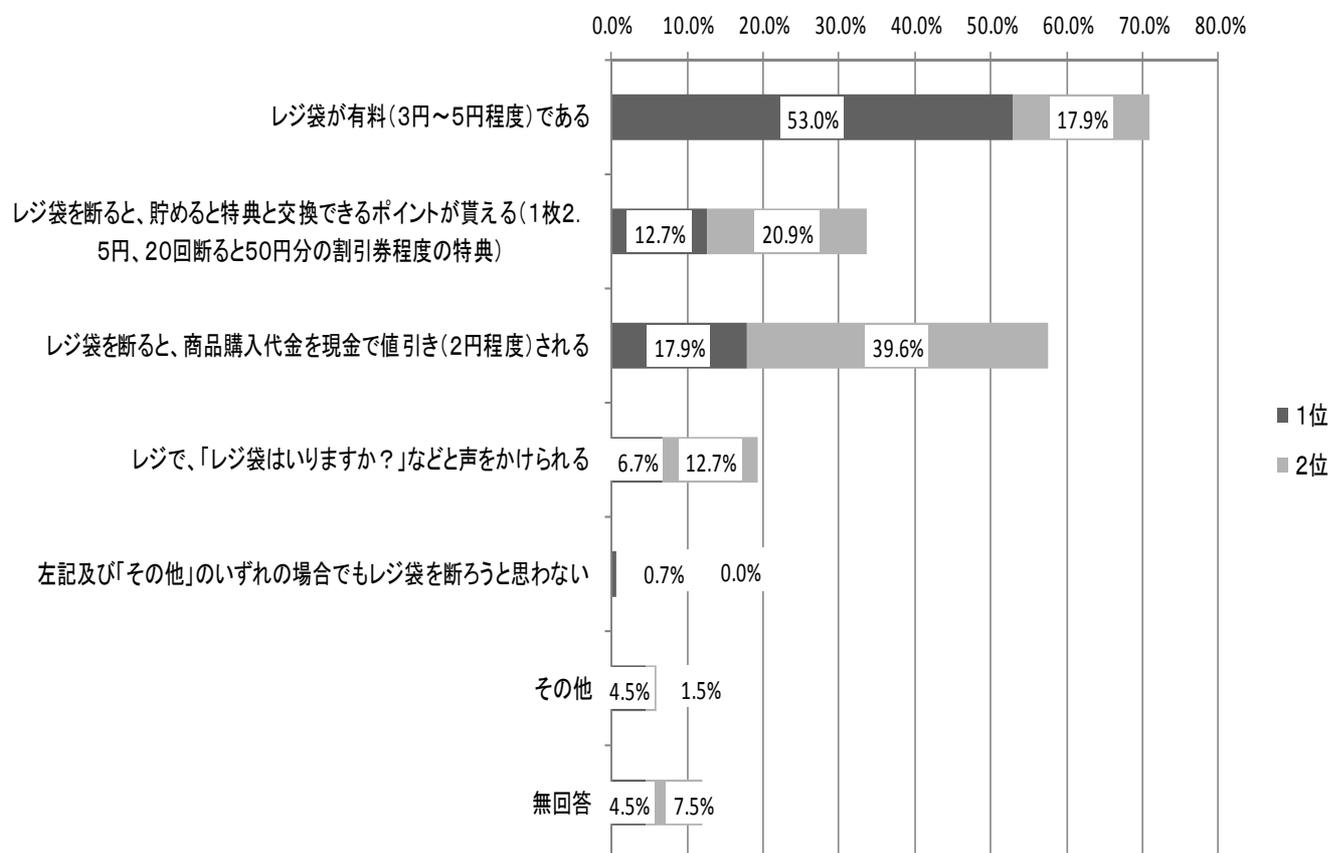
問3 レジ袋を断らずに貰っていた理由は何ですか。※1つのみ回答



		回答者数	マイバッグを持っていくのを忘れるため	マイバッグを持って行くのが面倒なため	レジ袋をごみ袋など他の用途で使っているため	環境保全につながると思えないため	何となく断る理由もないため	その他	無回答
	全体	55	40.0%	3.6%	43.6%	1.8%	0.0%	1.8%	9.1%
性別	男性	24	41.7%	8.3%	37.5%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%
	女性	31	38.7%	0.0%	48.4%	0.0%	0.0%	12.9%	0.0%
年齢別	20歳代	7	57.1%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	30歳代	12	33.3%	8.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
	40歳代	11	18.2%	0.0%	72.7%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	50歳代	9	44.4%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
	60歳代	7	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	9	66.7%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%

買い物でレジ袋を断らない理由は、「マイバッグを忘れたため」と「レジ袋を他の用途で使うため」が多く、ともに約40%であった。

問4 小売店が実施するレジ袋削減策のうち、効果的だと思う（レジ袋を断ろうと思う）取り組みは、次のうちのどれですか。断る動機付けとなる上位2つをお選びください。



効果的と思われる小売店のレジ袋削減策については、「レジ袋が有料（3円～5円程度）である」や「レジ袋を断ると、商品購入代金を現金で値引き（2円程度）される」が多く、「レジ袋を断ると、貯めると特典と交換できるポイントが貰える」も少なくなかった。

【1位】

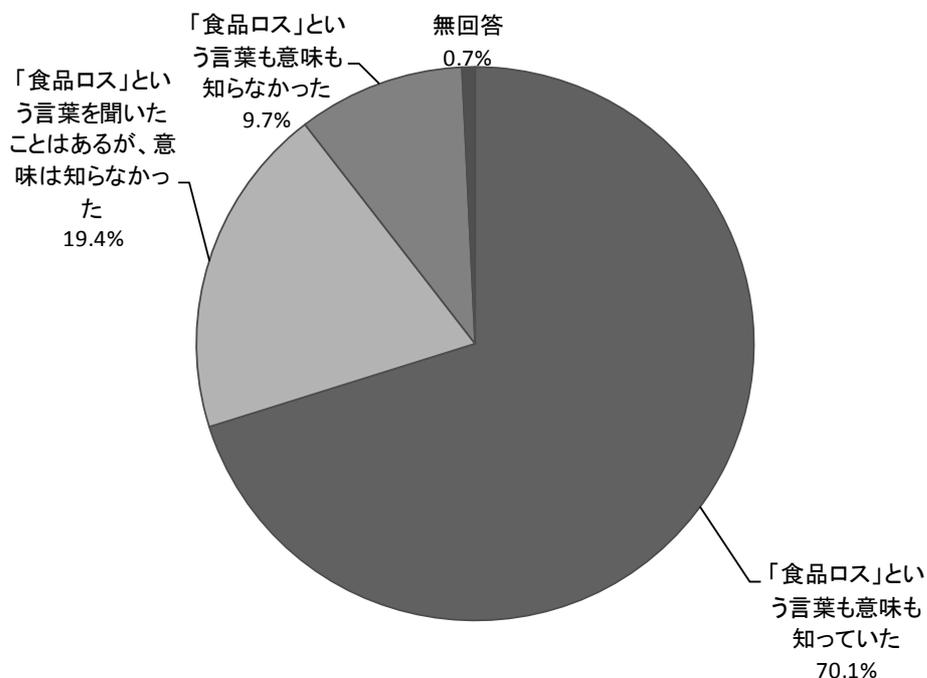
		回答者数	レジ袋が有料(3円~5円程度)である	レジ袋を断ると、貯めると特典と交換できるポイントが貰える(1枚2.5円、20回断ると50円分の割引券程度の特典)	レジ袋を断ると、商品購入代金を現金で値引き(2円程度)される	レジで、「レジ袋はいりますか？」などと声をかけられる	左記及び「その他」のいずれの場合でもレジ袋を断ろうと思わない	その他	無回答
全体		134	53.0%	12.7%	17.9%	6.7%	0.7%	4.5%	4.5%
性別	男性	44	40.9%	15.9%	11.4%	13.6%	2.3%	6.8%	9.1%
	女性	90	58.9%	11.1%	21.1%	3.3%	0.0%	3.3%	2.2%
年齢別	20歳代	13	46.2%	15.4%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	21	61.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
	40歳代	23	60.9%	8.7%	13.0%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%
	50歳代	20	45.0%	15.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	29	55.2%	3.4%	13.8%	17.2%	0.0%	6.9%	3.4%
	70歳以上	28	46.4%	21.4%	10.7%	3.6%	0.0%	0.0%	17.9%

【2位】

		回答者数	レジ袋が有料(3円~5円程度)である	レジ袋を断ると、貯めると特典と交換できるポイントが貰える(1枚2.5円、20回断ると50円分の割引券程度の特典)	レジ袋を断ると、商品購入代金を現金で値引き(2円程度)される	レジで、「レジ袋はいりますか？」などと声をかけられる	左記及び「その他」のいずれの場合でもレジ袋を断ろうと思わない	その他	無回答
全体		134	17.9%	20.9%	39.6%	12.7%	0.0%	1.5%	7.5%
性別	男性	44	9.1%	20.5%	36.4%	15.9%	0.0%	2.3%	15.9%
	女性	90	22.2%	21.1%	41.1%	11.1%	0.0%	1.1%	3.3%
年齢別	20歳代	13	38.5%	15.4%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	21	14.3%	19.0%	57.1%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%
	40歳代	23	17.4%	26.1%	34.8%	8.7%	0.0%	4.3%	8.7%
	50歳代	20	35.0%	10.0%	35.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	29	13.8%	31.0%	34.5%	13.8%	0.0%	0.0%	6.9%
	70歳以上	28	3.6%	17.9%	35.7%	21.4%	0.0%	3.6%	17.9%

【食品ロスについて】

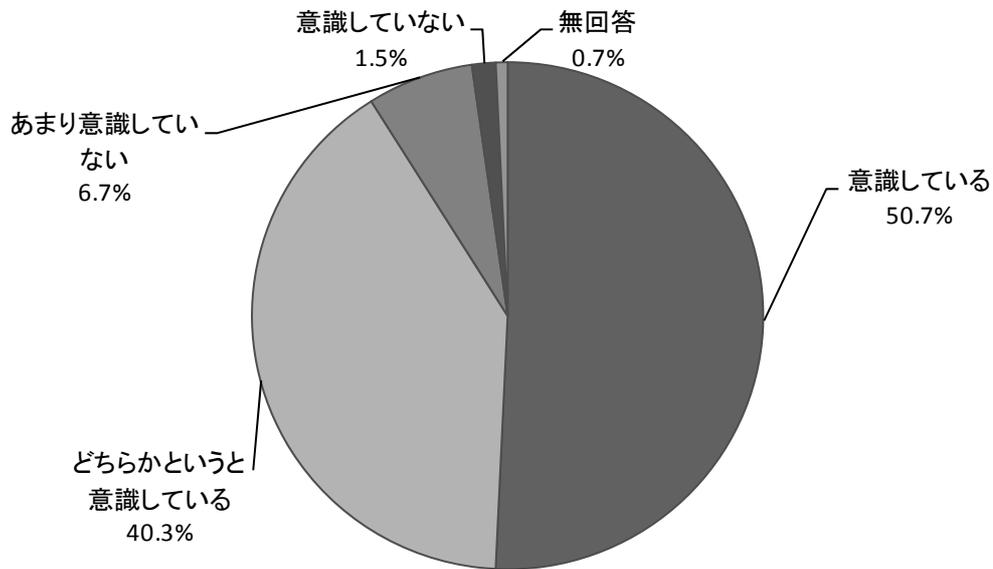
問5 消費期限切れや食べ残し、野菜の皮を厚くむきすぎるなどにより、本来なら食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」と言いますが、「食品ロス」という言葉を知っていましたか。 ※1つのみ回答



		回答者数	「食品ロス」という言葉も意味も知っていた	「食品ロス」という言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった	「食品ロス」という言葉も意味も知らなかった	無回答
全体		134	70.1%	19.4%	9.7%	0.7%
性別	男性	44	65.9%	25.0%	9.1%	0.0%
	女性	90	72.2%	16.7%	10.0%	1.1%
年齢別	20歳代	13	69.2%	7.7%	23.1%	0.0%
	30歳代	21	66.7%	19.0%	14.3%	0.0%
	40歳代	23	60.9%	26.1%	13.0%	0.0%
	50歳代	20	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	60歳代	29	75.9%	24.1%	0.0%	0.0%
	70歳以上	28	75.0%	14.3%	7.1%	3.6%

「食品ロス」という言葉の認知率について、全体で70.1%であった。年齢別に見ると、最も低い40歳代でも60.9%の認知度があり、高年齢層ほど認知度が高い傾向にあった。

問6 「食品ロス」を減らすことを意識していますか。 ※1つのみ回答

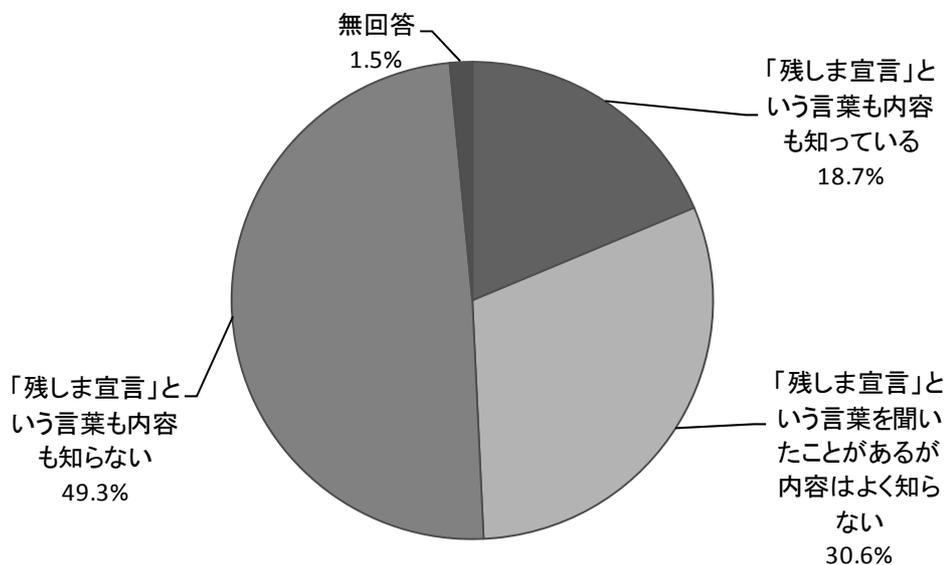


		回答者数	意識している	どちらかという意識している	あまり意識していない	意識していない	無回答
全体		134	50.7%	40.3%	6.7%	1.5%	0.7%
性別	男性	44	50.0%	40.9%	6.8%	2.3%	0.0%
	女性	90	51.1%	40.0%	6.7%	1.1%	1.1%
年齢別	20歳代	13	38.5%	46.2%	15.4%	0.0%	0.0%
	30歳代	21	38.1%	42.9%	14.3%	4.8%	0.0%
	40歳代	23	47.8%	43.5%	4.3%	4.3%	0.0%
	50歳代	20	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	29	55.2%	44.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	28	60.7%	25.0%	10.7%	0.0%	3.6%

食品ロスの削減について、90%以上が一定程度意識しているという結果であり、高年齢層ほど意識が高い傾向にあった。

問7 北九州市では、食品ロスを削減するために食べものの「残しま宣言」運動を昨年から実施しています。「残しま宣言」について知っていますか。

※1つのみ回答

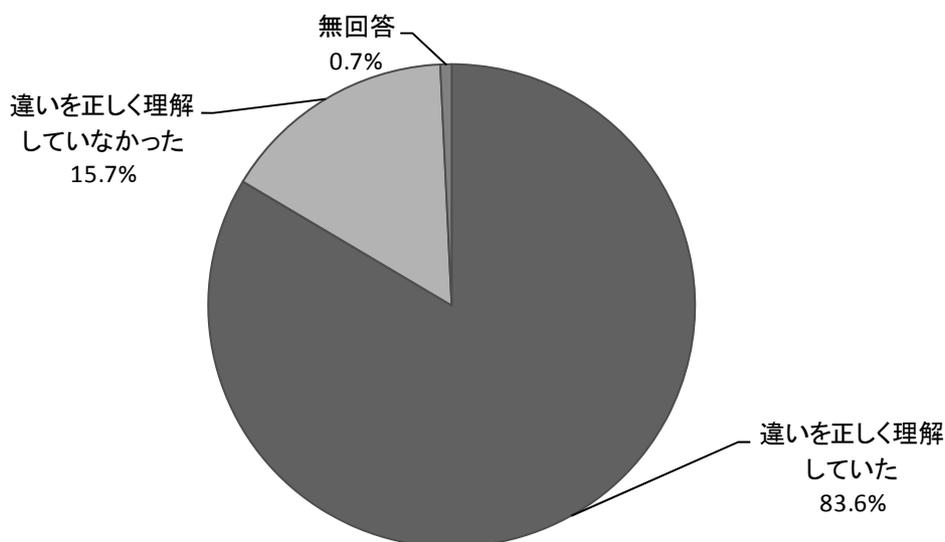


		回答者数	「残しま宣言」という言葉も内容も知っている	「残しま宣言」という言葉を聞いたことがあるが内容はよく知らない	「残しま宣言」という言葉も内容も知らない	無回答
全体		134	18.7%	30.6%	49.3%	1.5%
性別	男性	44	18.2%	27.3%	52.3%	2.3%
	女性	90	18.9%	32.2%	47.8%	1.1%
年齢別	20歳代	13	0.0%	15.4%	84.6%	0.0%
	30歳代	21	19.0%	23.8%	57.1%	0.0%
	40歳代	23	17.4%	39.1%	43.5%	0.0%
	50歳代	20	15.0%	30.0%	55.0%	0.0%
	60歳代	29	20.7%	31.0%	48.3%	0.0%
	70歳以上	28	28.6%	35.7%	28.6%	7.1%

北九州市の「残しま宣言」運動の認知度について、全体では「知っている・聞いたことがある」と「知らない」が半々という結果であった。

年齢別に見ると、高年齢層ほど認知度が高い傾向にあった。

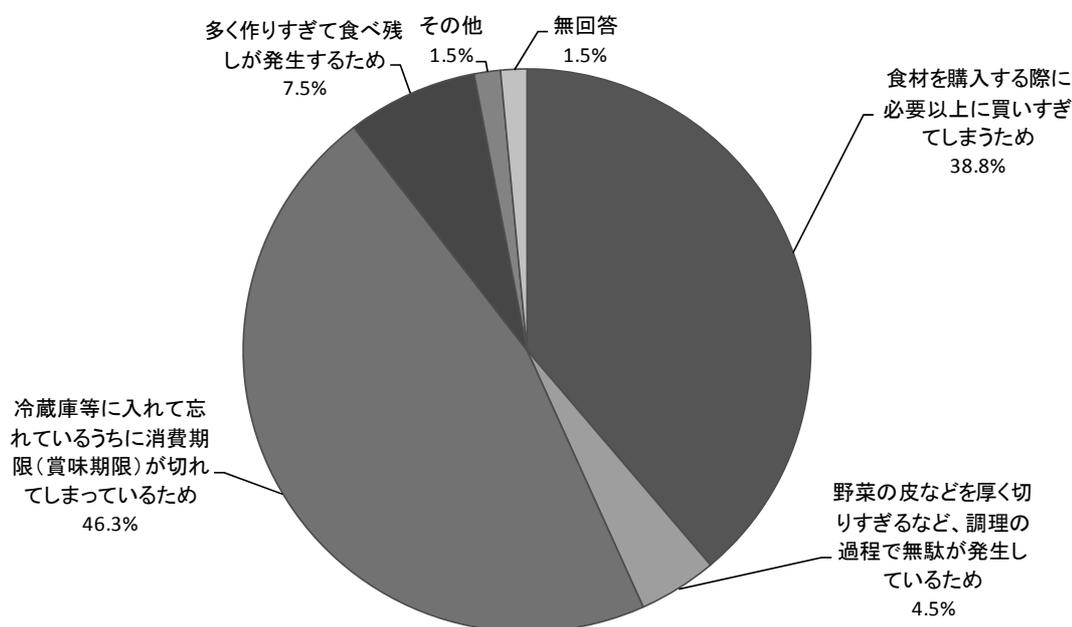
問8 「賞味期限」と「消費期限」の違いを理解していましたか。※1つのみ回答
 ※「賞味期限」・・・おいしく食べることが出来る期限。この期限を過ぎてもすぐに食べられないということではない。
 「消費期限」・・・期限を過ぎたら食べない方がよい期限。



		回答者数	違いを正しく理解していた	違いを正しく理解していなかった	無回答
全体		134	83.6%	15.7%	0.7%
性別	男性	44	77.3%	22.7%	0.0%
	女性	90	86.7%	12.2%	1.1%
年齢別	20歳代	13	100.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	21	85.7%	14.3%	0.0%
	40歳代	23	87.0%	13.0%	0.0%
	50歳代	20	70.0%	30.0%	0.0%
	60歳代	29	82.8%	17.2%	0.0%
	70歳以上	28	82.1%	14.3%	3.6%

賞味期限と消費期限の違いについて、正しく理解しているのは83.6%であり、年齢別に見ると、20歳代が最も高く100%という結果であった。

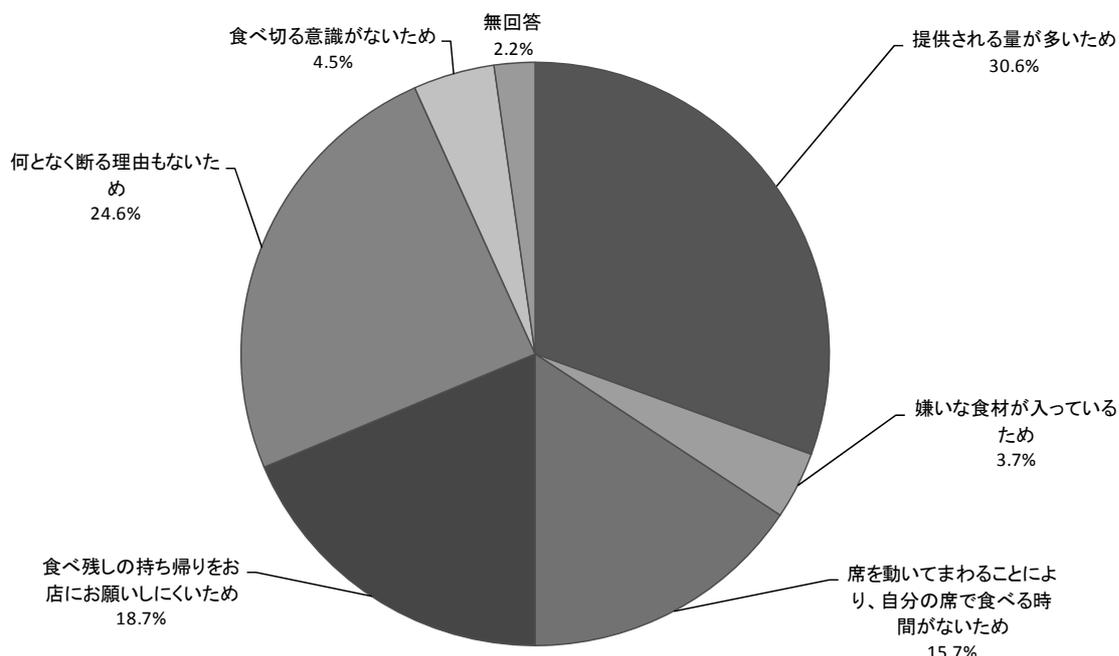
問9 家庭で食品ロスが発生する一番の原因は何だと思いますか。※1つのみ回答



		回答者数	食材を購入する際に必要以上に買いすぎたため	野菜の皮などを厚く切りすぎるなど、調理の過程で無駄が発生しているため	冷蔵庫等に入れて忘れていたうちに消費期限(賞味期限)が切れてしまっているため	多く作りすぎて食べ残しが発生するため	その他	無回答
全体		134	38.8%	4.5%	46.3%	7.5%	1.5%	1.5%
性別	男性	44	22.7%	6.8%	52.3%	13.6%	2.3%	2.3%
	女性	90	46.7%	3.3%	43.3%	4.4%	1.1%	1.1%
年齢別	20歳代	13	38.5%	0.0%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%
	30歳代	21	47.6%	0.0%	33.3%	19.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	23	34.8%	8.7%	52.2%	4.3%	0.0%	0.0%
	50歳代	20	45.0%	5.0%	35.0%	10.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	29	37.9%	6.9%	51.7%	3.4%	0.0%	0.0%
	70歳以上	28	32.1%	3.6%	50.0%	3.6%	3.6%	7.1%

家庭で食品ロスが発生する原因について、「冷蔵庫に入れて忘れていたうちに期限が切れてしまった」が46.3%と最も高く、次いで「食材を必要以上に買いすぎる」が38.8%、「食べ残しの発生」が7.5%であった。

問10 宴席などの外出時に、食べ残しが発生する一番の原因は何だと思えますか。 ※1つのみ回答



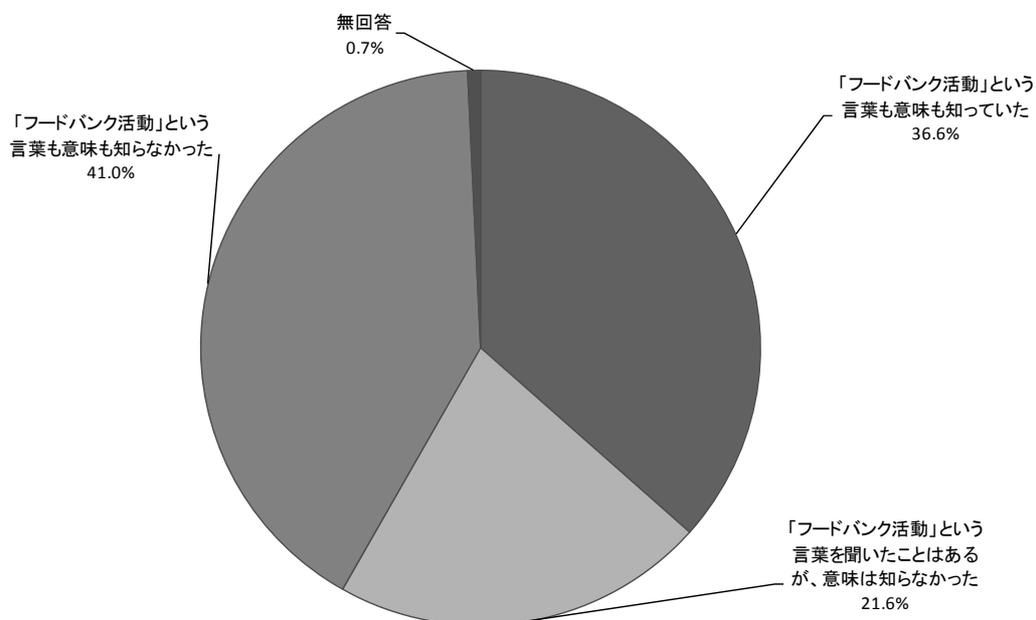
		回答者数	提供される量が多いため	嫌いな食材が入っているため	席を動いてまわることにより、自分の席で食べる時間がないため	食べ残しの持ち帰りをお店にお願いしにくいため	何となく断る理由もないため	食べ切る意識がないため	無回答
全体		134	30.6%	3.7%	15.7%	18.7%	24.6%	4.5%	2.2%
性別	男性	44	27.3%	6.8%	15.9%	20.5%	18.2%	6.8%	4.5%
	女性	90	32.2%	2.2%	15.6%	17.8%	27.8%	3.3%	1.1%
年齢別	20歳代	13	23.1%	0.0%	23.1%	15.4%	38.5%	0.0%	0.0%
	30歳代	21	4.8%	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%	9.5%	0.0%
	40歳代	23	34.8%	4.3%	13.0%	21.7%	26.1%	0.0%	0.0%
	50歳代	20	25.0%	10.0%	5.0%	15.0%	40.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	29	41.4%	0.0%	17.2%	27.6%	10.3%	3.4%	0.0%
	70歳以上	28	42.9%	7.1%	10.7%	14.3%	7.1%	7.1%	10.7%

宴会の席等での食べ残しの発生原因について、「提供される量が多いため」が30.6%と最も高かった。

年齢別に見ると、年齢層が高いほど、提供量が多いことを理由とする割合が高い傾向にあり、宴会中に自分の席で食べる時間がないことを理由とする割合は、20～30歳代で高い傾向にあった。

【フードバンクについて】

問 1 1 包装の印字ミスや外箱のへこみなど、食品衛生上問題はないが、通常販売が困難な食品をNPO等が引き取って福祉施設や生活困窮者等へ無償提供する活動を「フードバンク活動」と言いますが、「フードバンク活動」について知っていましたか。 ※1つのみ回答

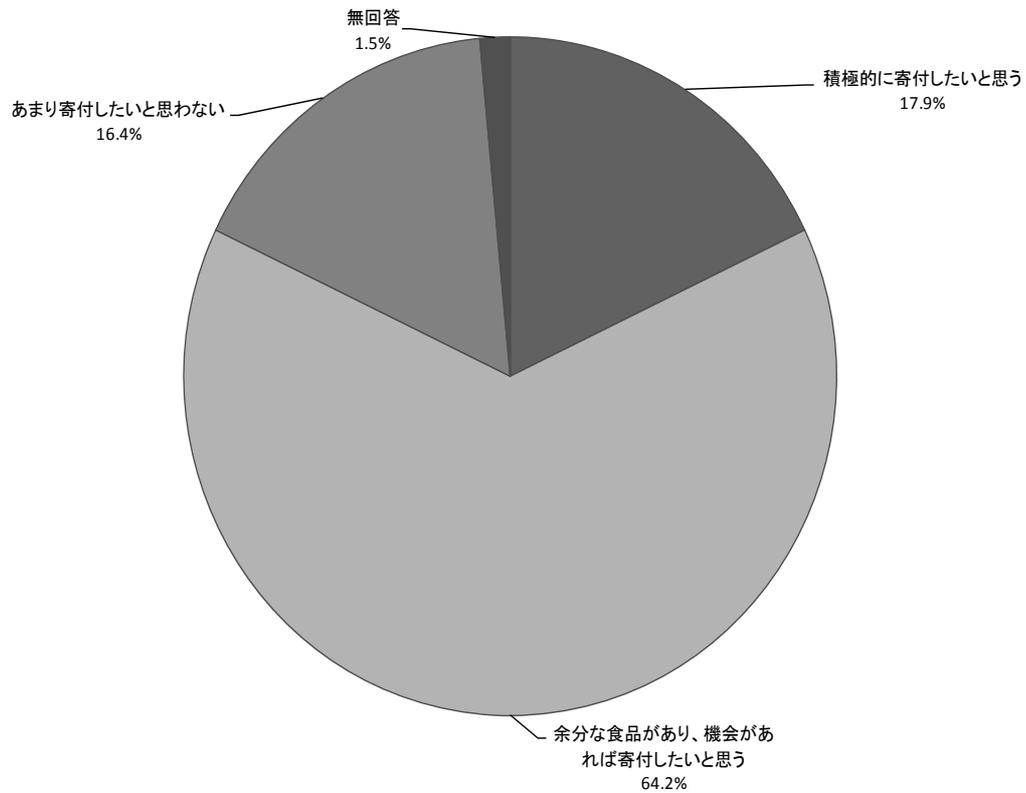


		回答者数	「フードバンク活動」という言葉も意味も知っていた	「フードバンク活動」という言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった	「フードバンク活動」という言葉も意味も知らなかった	無回答
全体		134	36.6%	21.6%	41.0%	0.7%
性別	男性	44	38.6%	15.9%	43.2%	2.3%
	女性	90	35.6%	24.4%	40.0%	0.0%
年齢別	20歳代	13	15.4%	30.8%	53.8%	0.0%
	30歳代	21	33.3%	4.8%	61.9%	0.0%
	40歳代	23	30.4%	21.7%	47.8%	0.0%
	50歳代	20	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%
	60歳代	29	44.8%	20.7%	34.5%	0.0%
	70歳以上	28	42.9%	32.1%	21.4%	3.6%

フードバンク活動に対する認知度について、「意味も内容も知らなかった」が、41.0%と最も高かった。

年齢別に見ると、高齢層ほど認知度が高い傾向にあり、20歳代では53.8%、30歳代では61.9%が全く知らないという結果であった。

問 1 2 「フードバンク活動」を実施する団体へ、家庭で利用しない食品（缶詰等）を寄付したいと思いませんか。 ※1つのみ回答

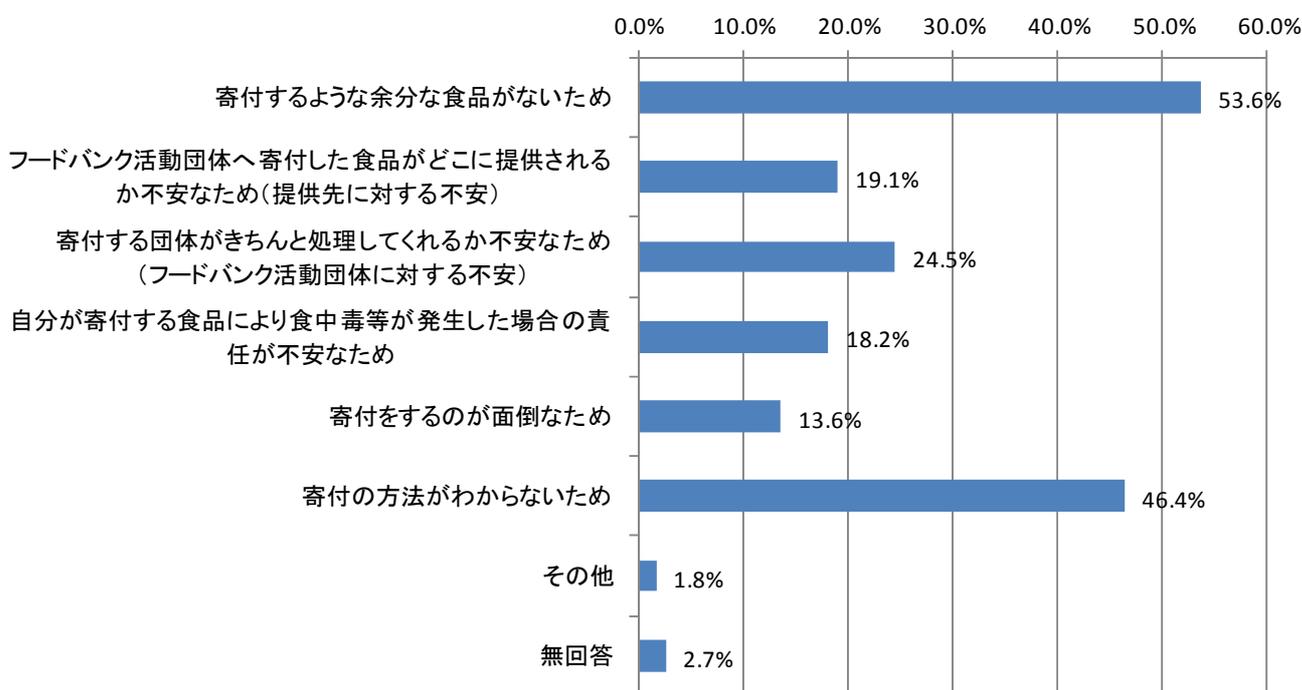


		回答者数	積極的に寄付したいと思う	余分な食品があり、機会があれば寄付したいと思う	あまり寄付したいと思わない	無回答
全体		134	17.9%	64.2%	16.4%	1.5%
性別	男性	44	13.6%	59.1%	25.0%	2.3%
	女性	90	20.0%	66.7%	12.2%	1.1%
年齢別	20歳代	13	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%
	30歳代	21	23.8%	57.1%	19.0%	0.0%
	40歳代	23	17.4%	73.9%	8.7%	0.0%
	50歳代	20	25.0%	70.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	29	17.2%	62.1%	20.7%	0.0%
	70歳以上	28	14.3%	53.6%	25.0%	7.1%

フードバンク活動への食品寄付について、「余分な食品があり、機会があれば寄付したい」と考える人が64.2%であり、年齢別に見ると、40～50歳代が寄付について積極的に考えている傾向にあった。

<問12で「1 積極的に寄付したいと思う」以外を選んだ方にお尋ねします。>

問13 「フードバンク活動」へ寄付をためらう理由は何ですか。※複数回答可

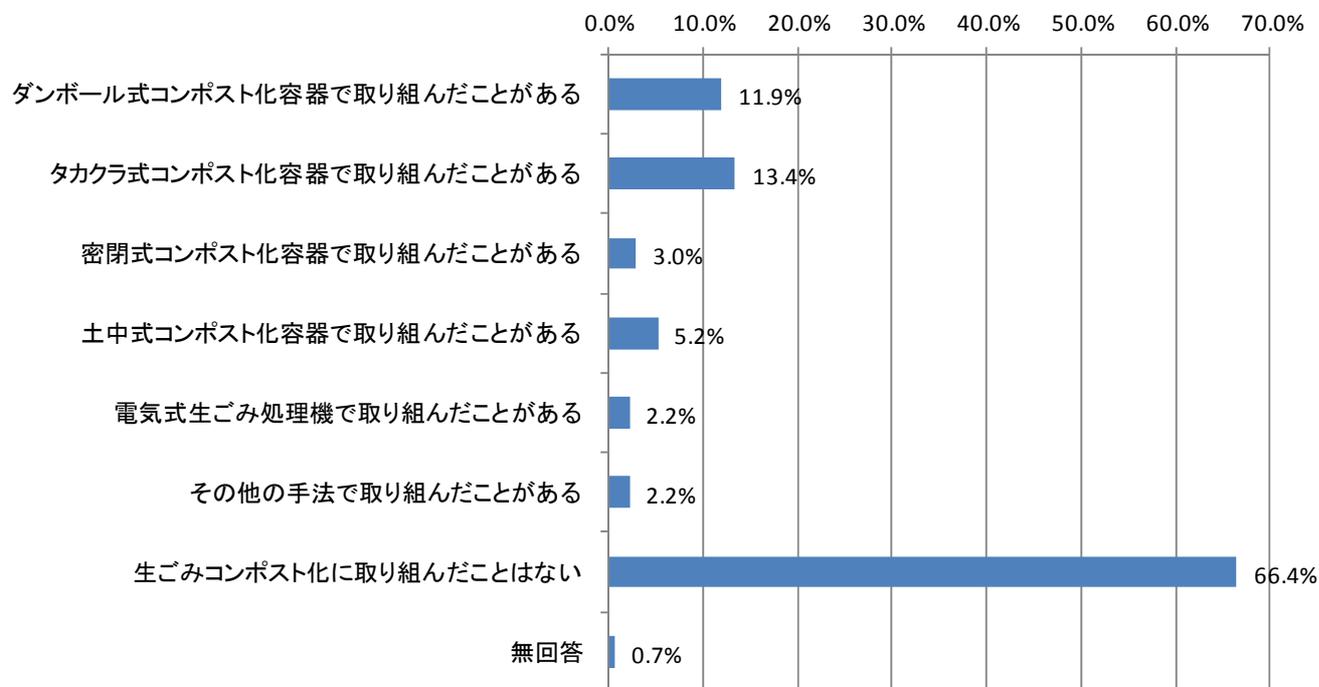


	回答者数	寄付するよう な余分な食 品がないた め	フードバンク活動 団体へ寄付した 食品がどこに提供 されるか不安なた め(提供先に対す る不安)	寄付する団体が きちんと処 理してくれるか 不安なため (フードバンク 活動団体に対 する不安)	自分が寄付す る食品により 食中毒等が発 生した場合の 責任が不安な ため	寄付をするの が面倒なため	寄付の方法が わからないた め	その他	無回答	
全体	110	53.6%	19.1%	24.5%	18.2%	13.6%	46.4%	1.8%	2.7%	
性別	男性	38	39.5%	28.9%	34.2%	23.7%	23.7%	50.0%	5.3%	2.6%
	女性	72	61.1%	13.9%	19.4%	15.3%	8.3%	44.4%	0.0%	2.8%
年齢別	20歳代	12	75.0%	8.3%	25.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	30歳代	16	62.5%	25.0%	43.8%	31.3%	18.8%	50.0%	0.0%	12.5%
	40歳代	19	57.9%	15.8%	21.1%	15.8%	10.5%	42.1%	5.3%	0.0%
	50歳代	15	66.7%	13.3%	33.3%	6.7%	6.7%	40.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	24	45.8%	41.7%	25.0%	16.7%	12.5%	62.5%	4.2%	0.0%
	70歳以上	24	33.3%	4.2%	8.3%	20.8%	16.7%	50.0%	0.0%	4.2%

フードバンクへの食品寄付をためらう理由について、「余分な食品がない」が53.6%と最も高く、次いで「寄付の方法が分からない」が46.4%、「寄付する団体がきちんと処理するか不安」が24.5%の順であった。

【生ごみコンポストについて】

問 1 4 微生物等の力により生ごみを堆肥に変えることを「生ごみのコンポスト化」と言い、様々な手法がありますが、次のいずれかの手法により生ごみコンポスト化に取り組んだことはありますか。 ※複数回答可



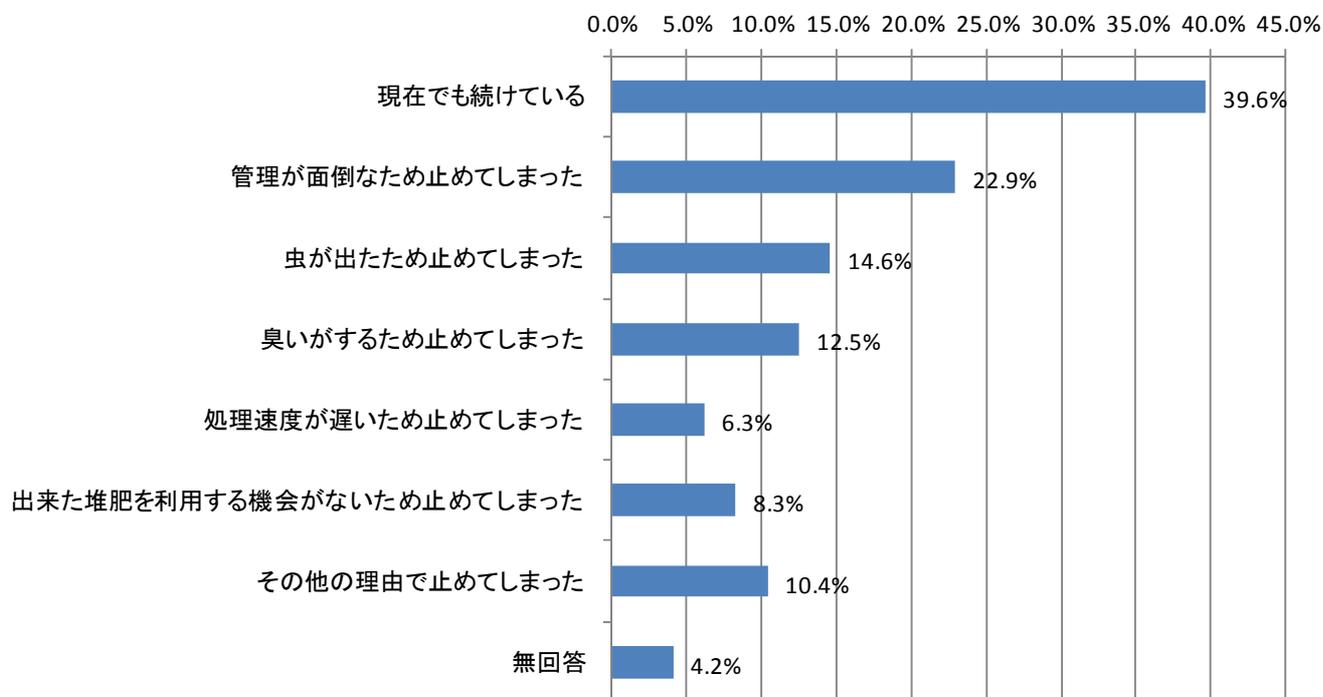
		回答者数	ダンボール式コンポスト化容器で取り組んだことがある	タカクラ式コンポスト化容器で取り組んだことがある	密閉式コンポスト化容器で取り組んだことがある	土中式コンポスト化容器で取り組んだことがある	電気式生ごみ処理機で取り組んだことがある	その他の手法で取り組んだことがある	生ごみコンポスト化に取り組んだことはない	無回答
全体		134	11.9%	13.4%	3.0%	5.2%	2.2%	2.2%	66.4%	0.7%
性別	男性	44	4.5%	18.2%	2.3%	4.5%	4.5%	2.3%	63.6%	2.3%
	女性	90	15.6%	11.1%	3.3%	5.6%	1.1%	2.2%	67.8%	0.0%
年齢別	20歳代	13	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.3%	0.0%
	30歳代	21	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	85.7%	0.0%
	40歳代	23	4.3%	8.7%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	78.3%	0.0%
	50歳代	20	5.0%	0.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%
	60歳代	29	17.2%	13.8%	0.0%	13.8%	3.4%	3.4%	58.6%	0.0%
	70歳以上	28	28.6%	39.3%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	28.6%	3.6%

生ごみコンポストの取組み経験について、「取り組んだことがない」が66.4%であり、取り組んだことがある中では、「タカクラ式コンポスト」が13.4%、「ダンボールコンポスト」が11.9%の順であった。

年齢別で見ると、若年層ほど取り組んだことがない人が多く、70歳代以上では、70%以上が取り組んだことがあるという結果であった。

＜問14で「7 生ごみコンポスト化に取り組んだことはない」以外を選んだ方にお尋ねします。＞

問15 生ごみのコンポスト化を現在でも継続して続けていますか？止めてしまった場合はその理由は何ですか。 ※複数回答可



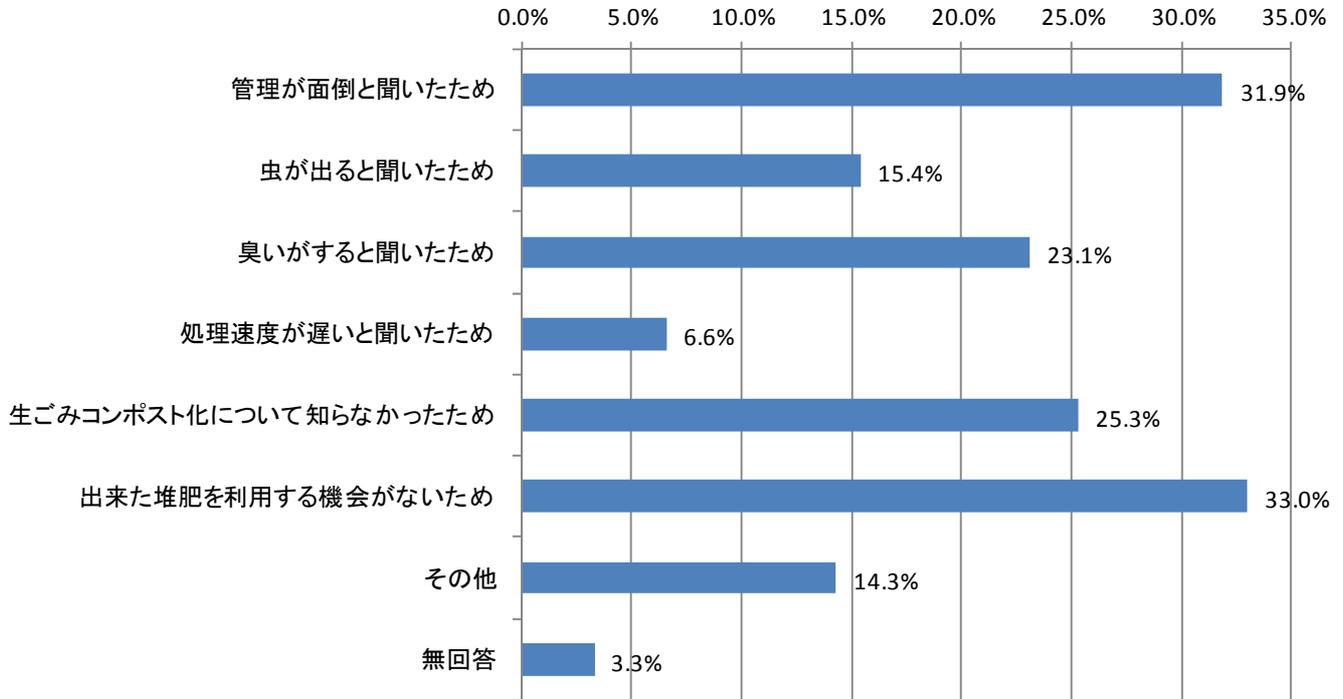
		回答者数	現在でも続けている	管理が面倒なため止めてしまった	虫が出たため止めてしまった	臭いがするため止めてしまった	処理速度が遅いため止めてしまった	出来た堆肥を利用する機会がないため止めてしまった	その他の理由で止めてしまった	無回答
全体		48	39.6%	22.9%	14.6%	12.5%	6.3%	8.3%	10.4%	4.2%
性別	男性	17	29.4%	47.1%	17.6%	23.5%	17.6%	11.8%	17.6%	5.9%
	女性	31	45.2%	9.7%	12.9%	6.5%	0.0%	6.5%	6.5%	3.2%
年齢別	20歳代	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	40歳代	5	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	50歳代	6	0.0%	33.3%	50.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	12	66.7%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%
	70歳以上	20	45.0%	25.0%	15.0%	5.0%	10.0%	10.0%	0.0%	5.0%

生ごみコンポストに取り組んだことがある人のうち、現在も続けているのは39.6%であった。

やめた理由では、「管理が面倒なため」が22.9%と最も高く、次いで「虫が出たため」が14.6%、「臭いがするため」が12.5%という結果であった。

＜問14で「7 生ごみコンポスト化に取り組んだことはない」を選んだ方にお尋ねします。＞

問16 生ごみコンポスト化に取り組まない理由は何ですか。※複数回答可



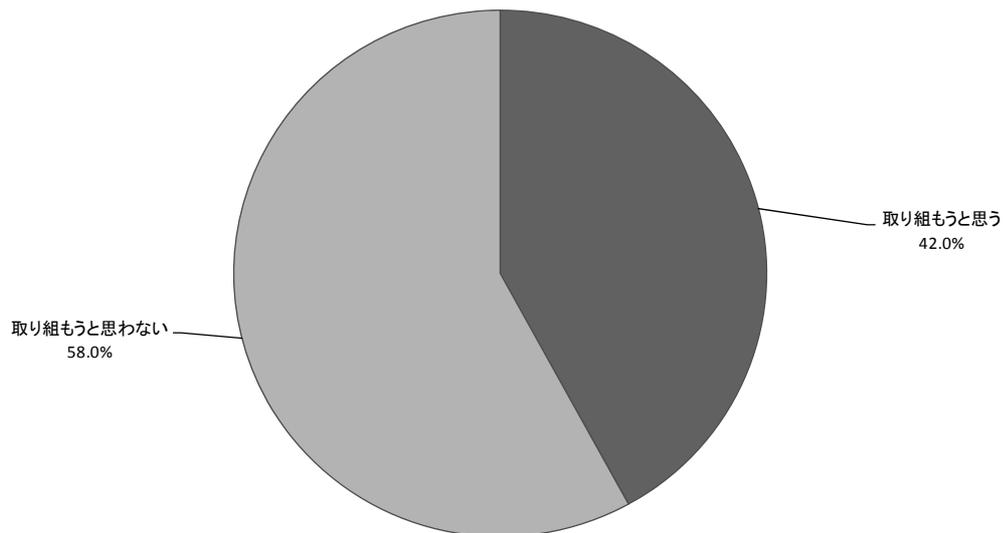
		回答者数	管理が面倒と聞いたため	虫が出ると聞いたため	臭いがすると聞いたため	処理速度が遅いと聞いたため	生ごみコンポスト化について知らなかったため	出来た堆肥を利用する機会がないため	その他	無回答
全体		91	31.9%	15.4%	23.1%	6.6%	25.3%	33.0%	14.3%	3.3%
性別	男性	28	25.0%	14.3%	21.4%	3.6%	32.1%	32.1%	17.9%	0.0%
	女性	63	34.9%	15.9%	23.8%	7.9%	22.2%	33.3%	12.7%	4.8%
年齢別	20歳代	12	41.7%	16.7%	25.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	30歳代	19	26.3%	21.1%	15.8%	0.0%	42.1%	31.6%	5.3%	10.5%
	40歳代	18	27.8%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	50.0%	11.1%	5.6%
	50歳代	16	31.3%	12.5%	31.3%	12.5%	18.8%	43.8%	18.8%	0.0%
	60歳代	18	33.3%	11.1%	33.3%	5.6%	16.7%	16.7%	22.2%	0.0%
	70歳以上	8	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	37.5%	37.5%	0.0%

生ごみコンポストに取り組んだことがない理由について、「できた堆肥を利用する機会がない」が33.0%と最も高く、次いで「管理が面倒と聞いている」が31.9%、「コンポストを知らなかった」が25.3%の順であった。

年齢別に見ると、若年層ほど生ごみコンポストの認知度が低い傾向にあった。

＜問15で「6 出来た堆肥を利用する機会がないため止めてしまった」及び問16で「6 出来た堆肥を利用する機会がないため」を選んだ方にお尋ねします。＞

問17 北九州市では今年から「余った生ごみ堆肥の回収」事業を開始しました。堆肥の使い道ができたため、生ごみコンポスト化に取り組もうと思いますか。※1つのみ回答



		回答者数	取り組もうと思う	取り組もうと思わない
全体		50	42.0%	58.0%
性別	男性	16	50.0%	50.0%
	女性	34	38.2%	61.8%
年齢別	20歳代	4	75.0%	25.0%
	30歳代	10	30.0%	70.0%
	40歳代	12	41.7%	58.3%
	50歳代	9	33.3%	66.7%
	60歳代	6	66.7%	33.3%
	70歳以上	9	33.3%	66.7%

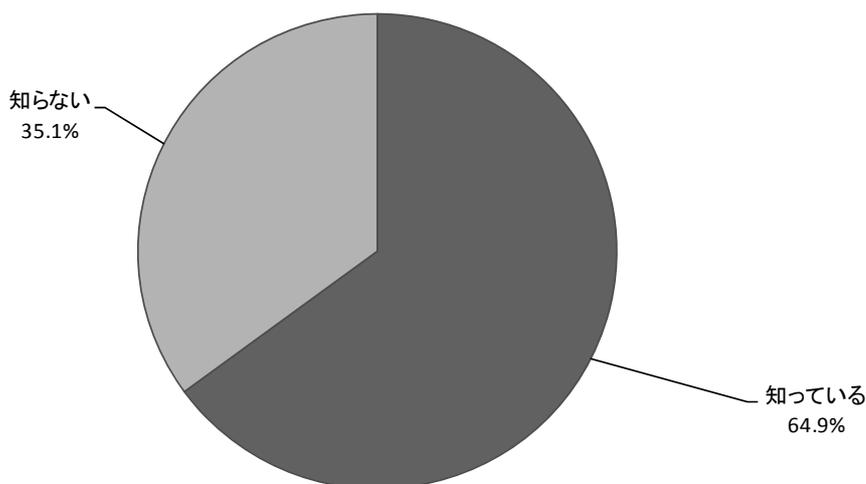
北九州市で開始した「生ごみ堆肥回収事業」を契機にコンポスト化の取り組みを始めることを考える人は、42.0%という結果であった。

年齢別に見ると、20歳代が75.0%と最も高く、次いで60歳代の66.7%であった。

【リユースについて】

問18 「リユース（再使用）」が、リサイクルよりも優先順位が高い取組みであることを知っていますか。※1つのみ回答

※ 「リユース」とは、いらなくなったがまだ使える物を他の人に譲る、紙皿などの使い捨て容器ではなく、洗って再び使える容器を使うなど、製品を大切に長く使い続ける環境行動のことです。

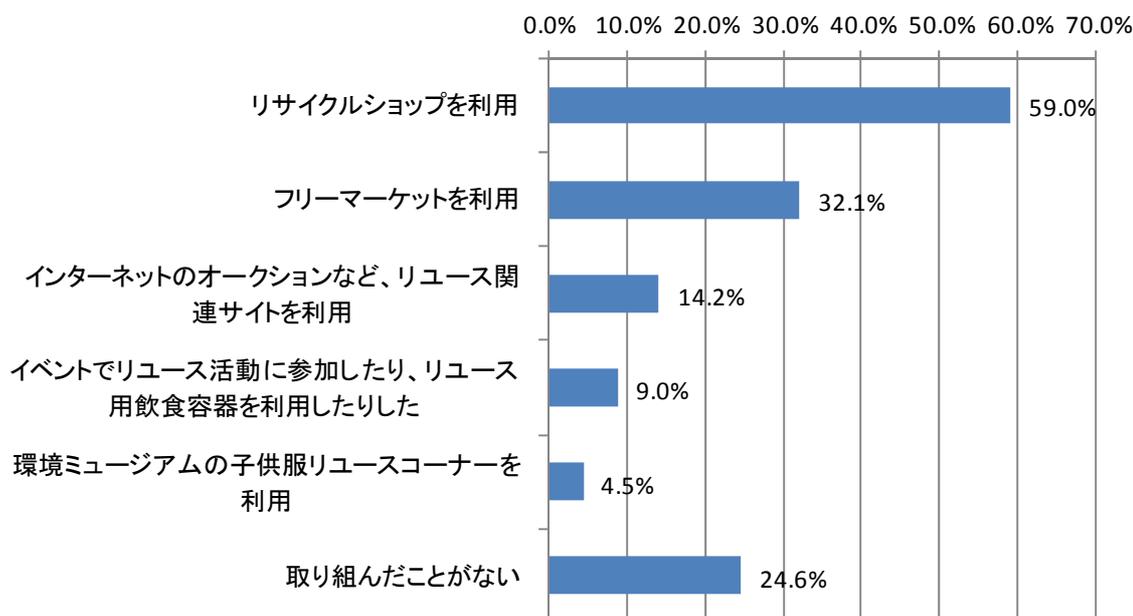


		回答者数	知っている	知らない
全体		134	64.9%	35.1%
性別	男性	44	63.6%	36.4%
	女性	90	65.6%	34.4%
年齢別	20歳代	13	76.9%	23.1%
	30歳代	21	66.7%	33.3%
	40歳代	23	78.3%	21.7%
	50歳代	20	45.0%	55.0%
	60歳代	29	65.5%	34.5%
	70歳以上	28	60.7%	39.3%

リユースがリサイクルより優先度の高い取組みであることについて、「知っている」が64.9%であった。

年齢別に見ると、最も高いのが40歳代の78.3%、次いで20歳代の76.9%である一方、最も低い50歳代だけが45.0%と、知らない方が多いという結果であった。

問 19 これまでリユースに取り組んだことがありますか。※複数回答可



		回答者数	リサイクルショップを利用	フリーマーケットを利用	インターネットのオークションなど、リユース関連サイトを利用	イベントでリユース活動に参加したり、リユース用飲食容器を利用したりした	環境ミュージアムの子供服リユースコーナーを利用	取り組んだことがない
全体		134	59.0%	32.1%	14.2%	9.0%	4.5%	24.6%
性別	男性	44	56.8%	36.4%	15.9%	11.4%	4.5%	27.3%
	女性	90	60.0%	30.0%	13.3%	7.8%	4.4%	23.3%
年齢別	20歳代	13	69.2%	61.5%	46.2%	0.0%	0.0%	7.7%
	30歳代	21	66.7%	23.8%	14.3%	19.0%	4.8%	23.8%
	40歳代	23	73.9%	30.4%	17.4%	0.0%	13.0%	13.0%
	50歳代	20	60.0%	25.0%	15.0%	5.0%	0.0%	25.0%
	60歳代	29	48.3%	34.5%	3.4%	13.8%	3.4%	31.0%
	70歳以上	28	46.4%	28.6%	7.1%	10.7%	3.6%	35.7%

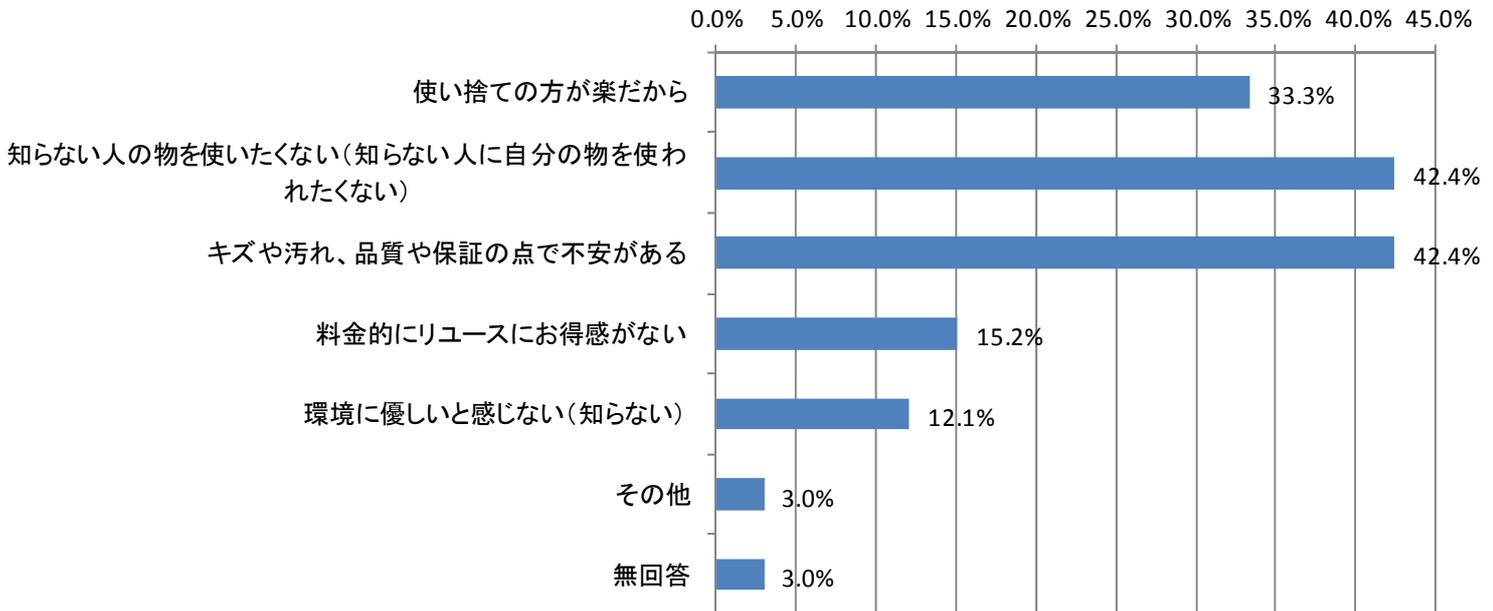
これまでリユースに取り組んだことがない人は、24.6%であった。

リユース手法では、「リサイクルショップ」が59.0%と最も高く、次いで「フリーマーケット」が32.1%、「ネットオークションなど」が14.2%という順であった。

年齢別に見ると、高年齢層ほどリユースしたことがない傾向が高い一方、20歳代のフリーマーケットやネットオークションの利用率が高いという結果であった。

<問19で「6 取り組んだことがない」を選んだ方にお尋ねします。>

問20 リユースに取り組まない理由は何ですか。※複数回答可



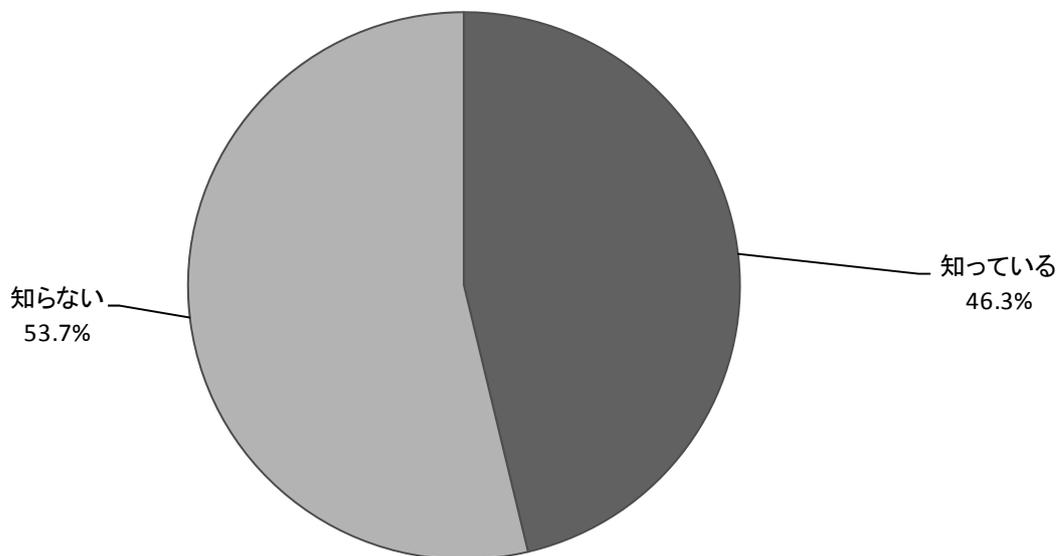
		回答者数	使い捨ての方が楽だから	知らない人の物を使いたくない(知らない人に自分の物を使われない)	キズや汚れ、品質や保証の点で不安がある	料金的にリユースにお得感がない	環境に優しいと感じない(知らない)	その他	無回答
全体		33	33.3%	42.4%	42.4%	15.2%	12.1%	3.0%	3.0%
性別	男性	11	36.4%	54.5%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
	女性	22	31.8%	36.4%	45.5%	18.2%	13.6%	4.5%	4.5%
年齢別	20歳代	2	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	5	40.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	3	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	5	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	9	44.4%	55.6%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%
	70歳以上	9	44.4%	66.7%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%

リユースに取り組んだことがない理由として、「知らない人同士での物のやり取りに対する不安」と「品質や保証面での不安」が42.4%と最も高く、次いで「使い捨ての方が楽」が33.3%であった。

年齢別に見ると、高年齢層ほど、環境に優しい取組みと感じないとする割合が高かった。

【リサイクル<古着>について】

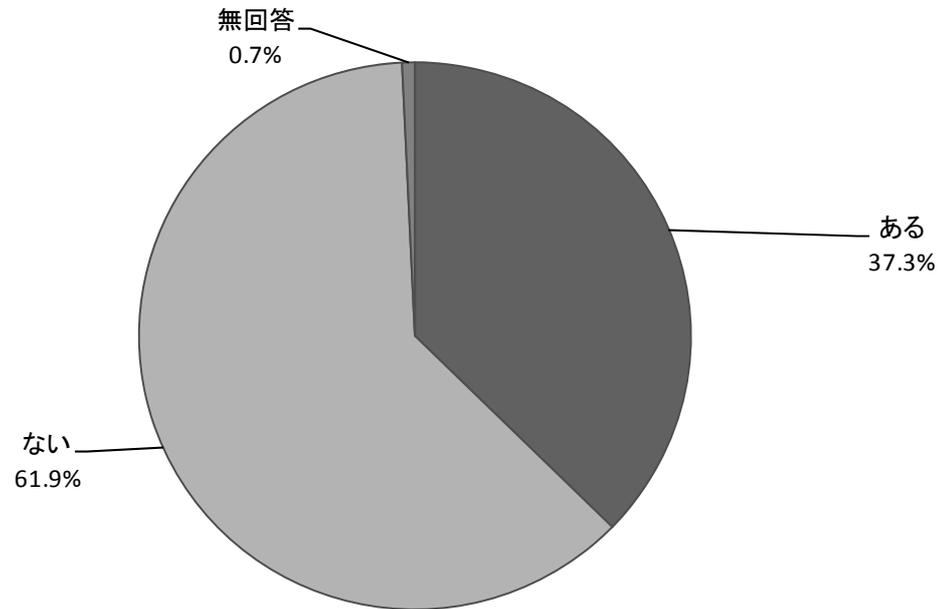
問21 北九州市では、平成26年から、家庭の古着を回収して自動車内装材にリサイクルする事業が行われていますが、知っていますか。※1つのみ回答



		回答者数	知っている	知らない
全体		134	46.3%	53.7%
性別	男性	44	54.5%	45.5%
	女性	90	42.2%	57.8%
年齢別	20歳代	13	15.4%	84.6%
	30歳代	21	14.3%	85.7%
	40歳代	23	52.2%	47.8%
	50歳代	20	45.0%	55.0%
	60歳代	29	65.5%	34.5%
	70歳以上	28	60.7%	39.3%

北九州市の古着リサイクル事業の認知度について、「知らない」が53.7%であった。年齢別に見ると、高年齢層ほど認知度が高く、最も高い60歳代で65.5%が知っているとする一方、20～30歳代では80%以上が知らないという結果であった。

問 2 2 公共施設や一部のクリーニング店で回収していますが、利用したことはありますか。※1つのみ回答

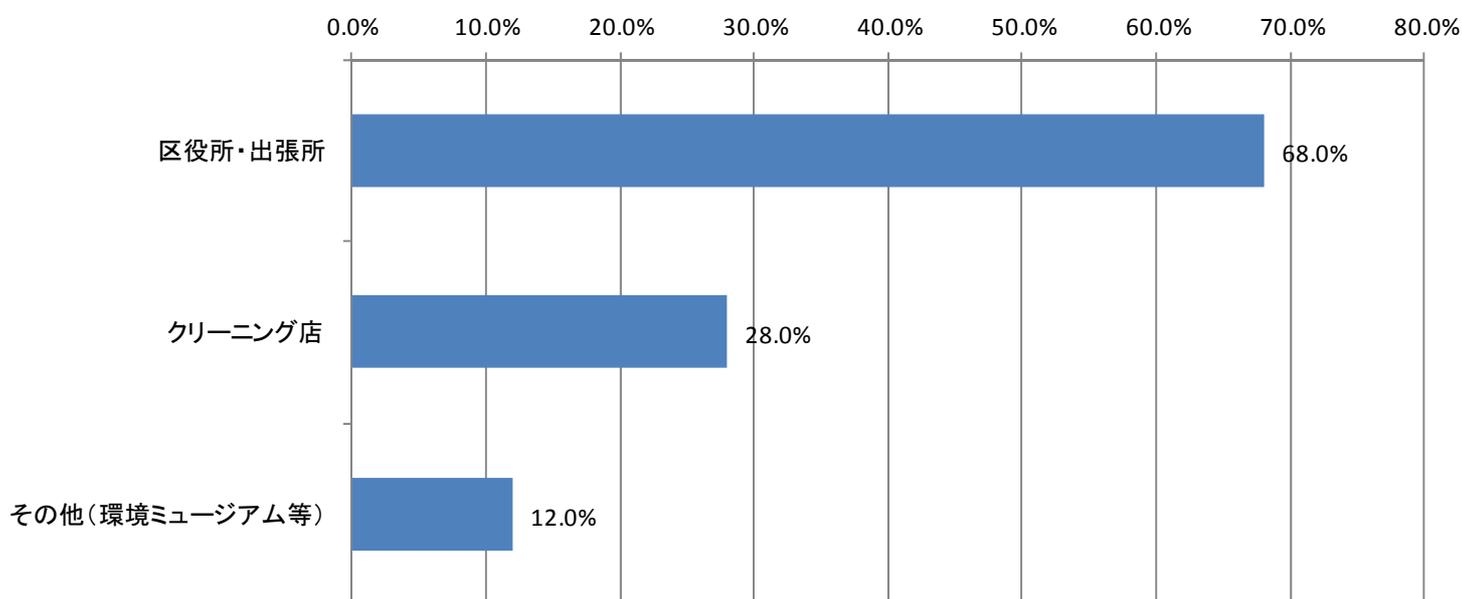


		回答者数	ある	ない	無回答
全体		134	37.3%	61.9%	0.7%
性別	男性	44	36.4%	61.4%	2.3%
	女性	90	37.8%	62.2%	0.0%
年齢別	20歳代	13	15.4%	84.6%	0.0%
	30歳代	21	38.1%	61.9%	0.0%
	40歳代	23	43.5%	56.5%	0.0%
	50歳代	20	50.0%	50.0%	0.0%
	60歳代	29	34.5%	65.5%	0.0%
	70歳以上	28	35.7%	60.7%	3.6%

古着リサイクルの利用経験について、「ある」が37.3%であり、年齢別に見ると、最も高い50歳代が50%、最も低い20歳代が15.4%という結果であった。

<問22で「1 ある」を選んだ方にお尋ねします。>

問23 どこで、利用したことがありますか。※複数回答可

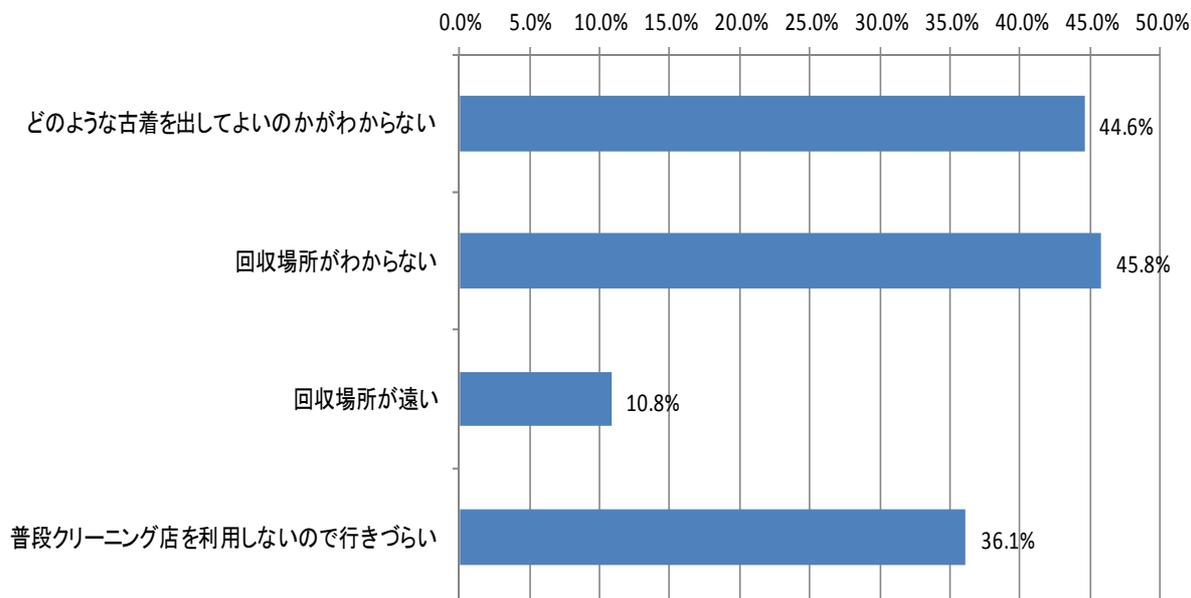


		回答者数	区役所・出張所	クリーニング店	その他(環境ミュージアム等)
全体		50	68.0%	28.0%	12.0%
性別	男性	16	62.5%	25.0%	18.8%
	女性	34	70.6%	29.4%	8.8%
年齢別	20歳代	2	50.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	8	25.0%	75.0%	12.5%
	40歳代	10	80.0%	20.0%	10.0%
	50歳代	10	90.0%	10.0%	0.0%
	60歳代	10	80.0%	30.0%	0.0%
	70歳以上	10	60.0%	10.0%	40.0%

古着リサイクルの利用場所について、「区役所・出張所」が68.0%と最も高く、次いで「クリーニング店」が28.0%、「その他」が12.0%という順であった。

<問22で「2 ない」を選んだ方にお尋ねします。>

問24 利用したことがない理由は何ですか。※複数回答可

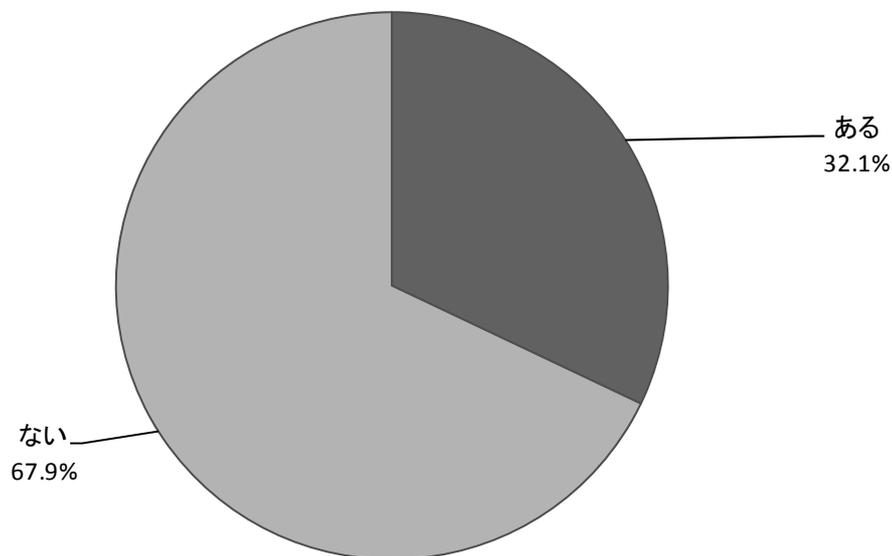


		回答者数	どのような古着を出してよいかかわからない	回収場所がわからない	回収場所が遠い	普段クリーニング店を利用しないので行きづらい
全体		83	44.6%	45.8%	10.8%	36.1%
性別	男性	27	44.4%	51.9%	0.0%	48.1%
	女性	56	44.6%	42.9%	16.1%	30.4%
年齢別	20歳代	11	63.6%	36.4%	0.0%	36.4%
	30歳代	13	38.5%	69.2%	7.7%	46.2%
	40歳代	13	15.4%	61.5%	7.7%	23.1%
	50歳代	10	30.0%	50.0%	30.0%	50.0%
	60歳代	19	36.8%	47.4%	10.5%	31.6%
	70歳以上	17	76.5%	17.6%	11.8%	35.3%

古着リサイクルを利用しない理由について、「回収場所がわからない」が45.8%と最も高く、次いで「どのような古着を出してよいかかわからない」が44.6%、「クリーニング店を利用しづらい」が36.1%であった。

問25 洋服販売店などの小売店で、古着を下取りに出したことがありますか。

※1つのみ回答

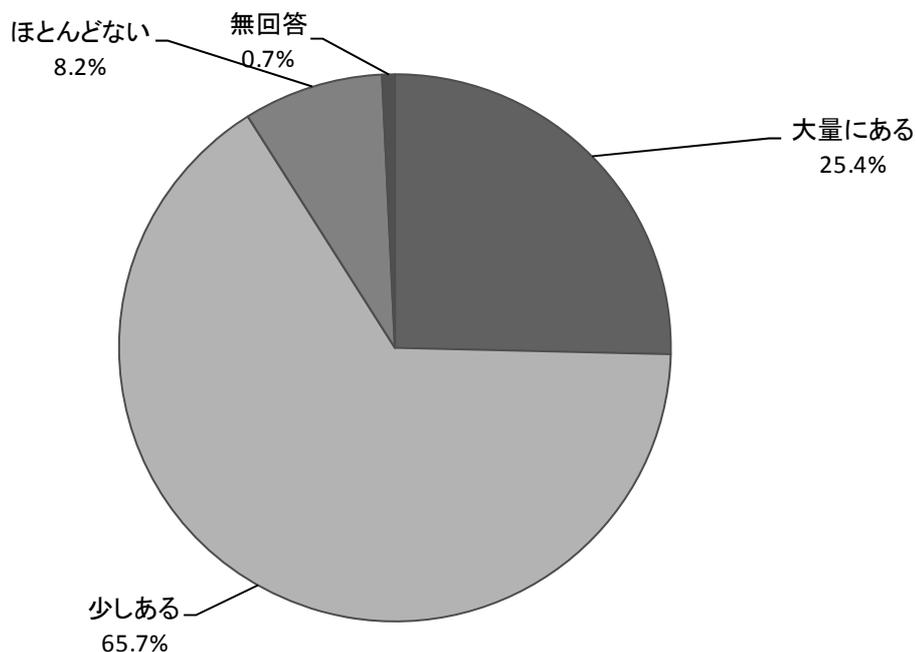


		回答者数	ある	ない
全体		134	32.1%	67.9%
性別	男性	44	31.8%	68.2%
	女性	90	32.2%	67.8%
年齢別	20歳代	13	61.5%	38.5%
	30歳代	21	33.3%	66.7%
	40歳代	23	39.1%	60.9%
	50歳代	20	20.0%	80.0%
	60歳代	29	34.5%	65.5%
	70歳以上	28	17.9%	82.1%

洋服販売店等での古着の下取りについて、「出したことがある」が32.1%であり、出したことがない方が多いという結果であった。

年齢別に見ると、20歳代で「出したことがある」との回答が61.5%と特に高かった。

問26 ご家庭に、今後着る見込みがない古着がありますか。 ※1つのみ回答



		回答者数	大量にある	少しある	ほとんどない	無回答
全体		134	25.4%	65.7%	8.2%	0.7%
性別	男性	44	18.2%	77.3%	2.3%	2.3%
	女性	90	28.9%	60.0%	11.1%	0.0%
年齢別	20歳代	13	15.4%	61.5%	23.1%	0.0%
	30歳代	21	23.8%	57.1%	19.0%	0.0%
	40歳代	23	17.4%	69.6%	13.0%	0.0%
	50歳代	20	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	29	34.5%	65.5%	0.0%	0.0%
	70歳以上	28	25.0%	71.4%	0.0%	3.6%

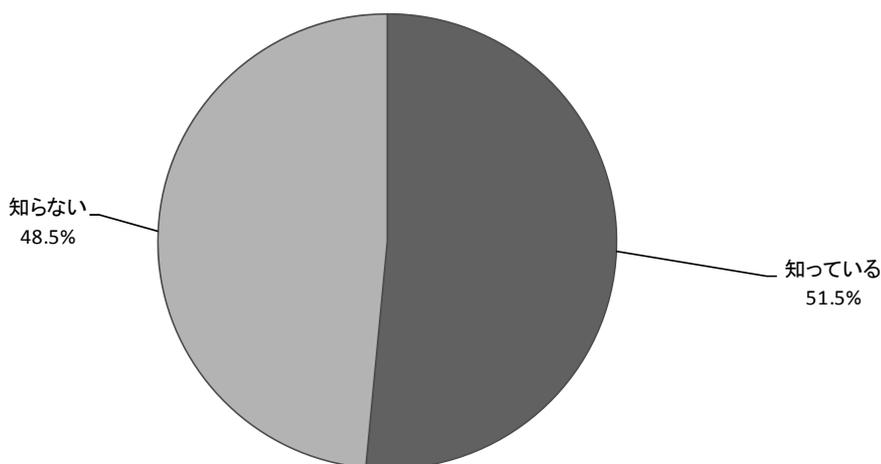
家庭で眠っている古着について、「大量にある」の25.4%と「少しある」の65.7%を合わせると、9割以上の家庭に着る見込みのない古着が一定程度あるという結果であった。

年齢別に見ると、「大量にある」と回答したのが、60歳代で34.5%、50歳代で30.0%と割合が高かった。

【リサイクル<家電リサイクル>について】

問27 北九州市では、家電リサイクル法で規定する4品目（テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵庫）について、「家電リサイクル協力店」制度を設けていますが、知っていますか。※1つのみ回答

※ 「家電リサイクル協力店」とは、家電4品目を捨てる際に、自分が以前購入した販売店がない（わからない）などの理由により、引取り義務がある家電販売店に引き渡せない場合に、市内の電器店（44店舗）が代わりに引き取る制度です。

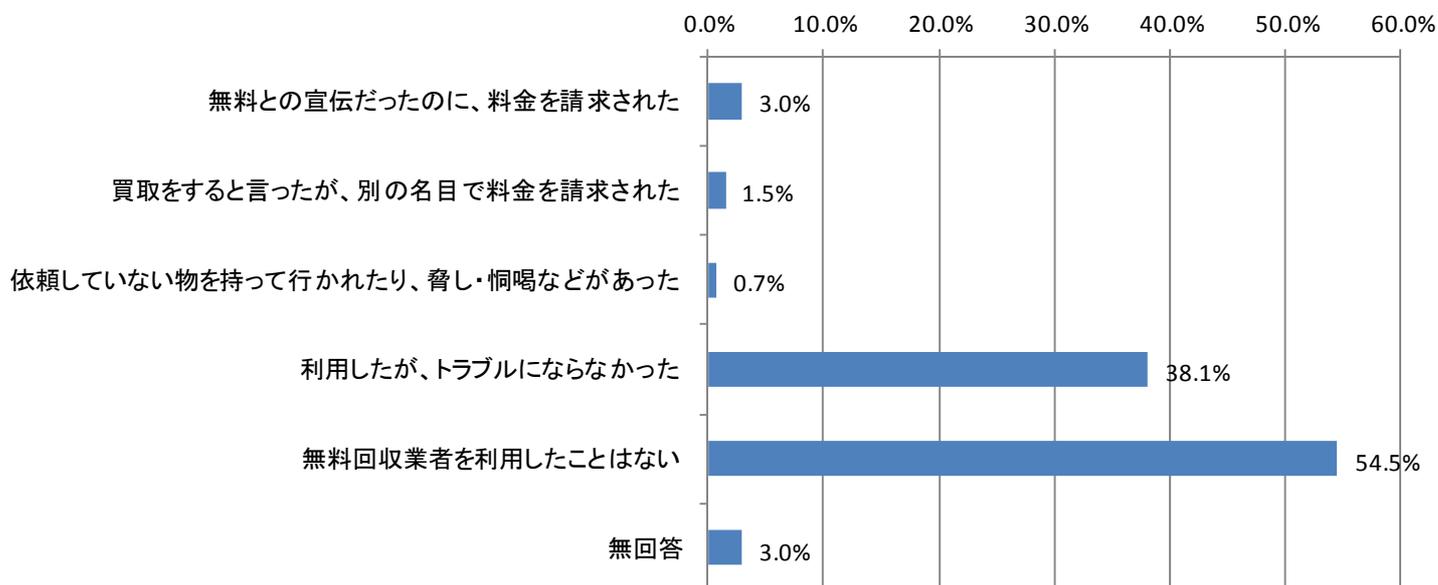


		回答者数	知っている	知らない
全体		134	51.5%	48.5%
性別	男性	44	52.3%	47.7%
	女性	90	51.1%	48.9%
年齢別	20歳代	13	7.7%	92.3%
	30歳代	21	33.3%	66.7%
	40歳代	23	65.2%	34.8%
	50歳代	20	75.0%	25.0%
	60歳代	29	55.2%	44.8%
	70歳以上	28	53.6%	46.4%

「家電リサイクル協力店制度」の認知度について、51.5%が知っているという結果であった。

年齢別に見ると、最も高い50歳代で75.0%が認知している一方、最も低い20歳代の認知度は7.7%であった。

問28 適正なリサイクルを確保するため、市では、無料回収業者を利用しないようお知らせしています。これまでに無料回収業者を利用し、トラブルになったことがありますか。※複数回答可



		回答者数	無料との宣伝だったのに、料金を請求された	買取をするとしたが、別の名目で料金を請求された	依頼していない物を持って行かれたり、脅し・恫喝などがあつた	利用したが、トラブルにならなかった	無料回収業者を利用したことはない	無回答
全体		134	3.0%	1.5%	0.7%	38.1%	54.5%	3.0%
性別	男性	44	0.0%	2.3%	2.3%	54.5%	38.6%	2.3%
	女性	90	4.4%	1.1%	0.0%	30.0%	62.2%	3.3%
年齢別	20歳代	13	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	84.6%	0.0%
	30歳代	21	0.0%	0.0%	0.0%	23.8%	76.2%	0.0%
	40歳代	23	4.3%	4.3%	0.0%	34.8%	52.2%	8.7%
	50歳代	20	5.0%	0.0%	5.0%	55.0%	35.0%	0.0%
	60歳代	29	3.4%	3.4%	0.0%	44.8%	48.3%	0.0%
	70歳以上	28	3.6%	0.0%	0.0%	42.9%	46.4%	7.1%

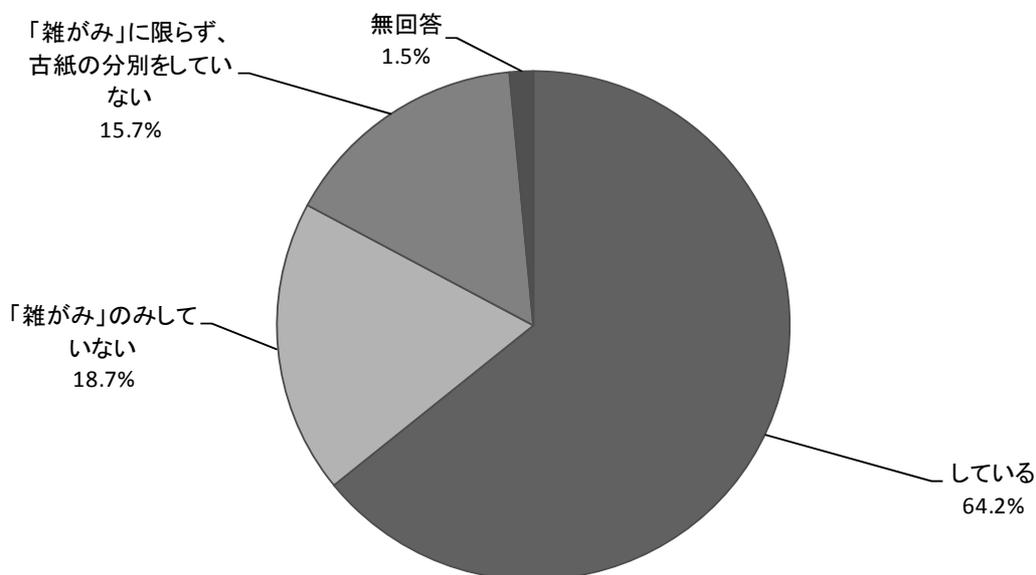
無料回収業者とのトラブルについて、「利用したことがない」が54.5%と最も高く、次いで「利用したがトラブルはない」が38.1%の順であった。

年齢別に見ると、若年層ほど「利用したことがない」と回答した割合が高く、20歳代では84.6%であった。

【リサイクル<古紙：雑がみ>について】

問29 お菓子の空き箱やシュレッダーした紙など、新聞・雑誌・段ボール以外の「雑がみ」も古紙としてリサイクルできますが、分別していますか。

※1つのみ回答

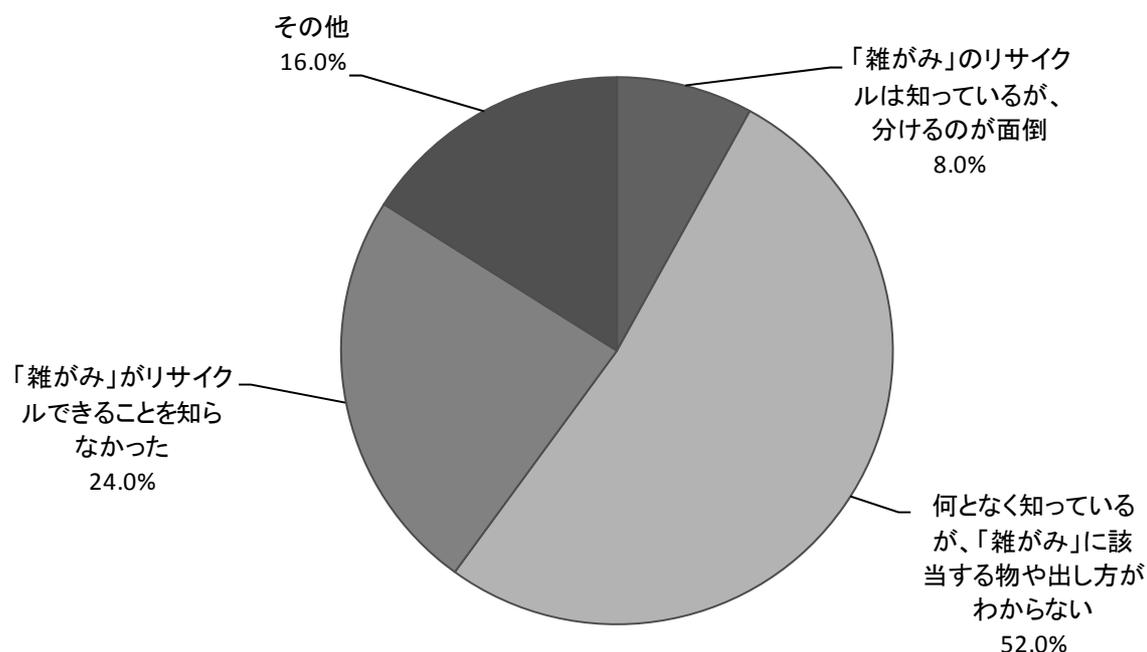


		回答者数	している	「雑がみ」のみしていない	「雑がみ」に限らず、古紙の分別をしていない	無回答
全体		134	64.2%	18.7%	15.7%	1.5%
性別	男性	44	59.1%	18.2%	20.5%	2.3%
	女性	90	66.7%	18.9%	13.3%	1.1%
年齢別	20歳代	13	53.8%	15.4%	30.8%	0.0%
	30歳代	21	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%
	40歳代	23	73.9%	13.0%	13.0%	0.0%
	50歳代	20	70.0%	15.0%	15.0%	0.0%
	60歳代	29	72.4%	24.1%	0.0%	3.4%
	70歳以上	28	75.0%	14.3%	7.1%	3.6%

雑がみの分別について、「している」が64.2%である一方、古紙の分別を全くしていないのが15.7%という結果であった。

年齢別に見ると、高年齢層ほど分別に取り組んでいる傾向にあり、40歳代以上では70%以上が雑がみを分別している一方、20歳代では30.8%、30歳代では42.9%が古紙の分別を全くしていないという結果であった。

＜問29で「2 「雑がみ」のみしていない」を選んだ方にお尋ねします。＞
 問30 分別していない理由は何ですか。※1つのみ回答

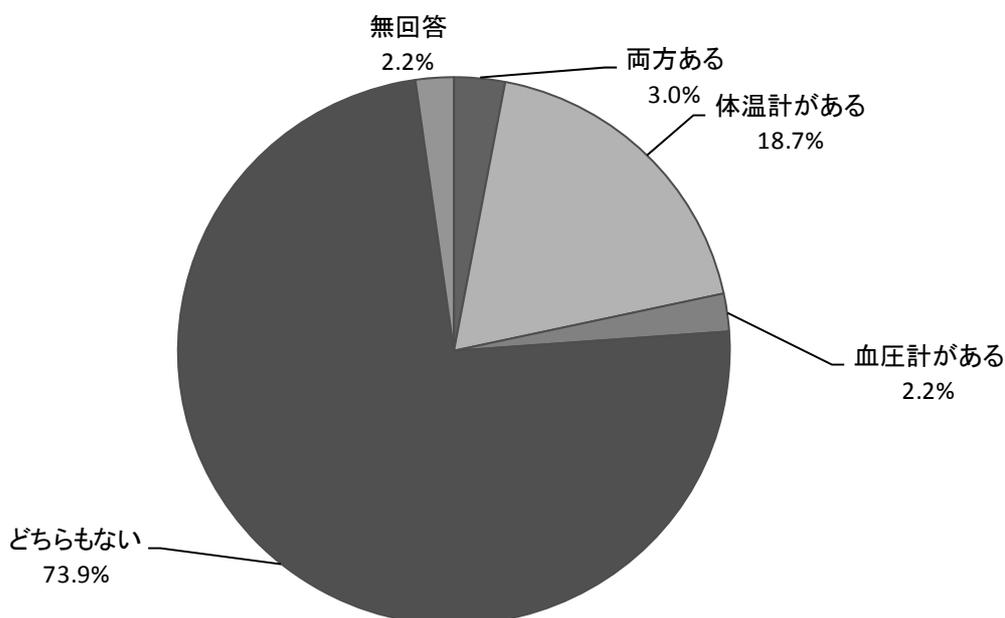


		回答者数	「雑がみ」のリサイクルは知っているが、分けるのが面倒	何となく知っているが、「雑がみ」に該当する物や出し方がわからない	「雑がみ」がリサイクルできることを知らなかった	その他
全体		25	8.0%	52.0%	24.0%	16.0%
性別	男性	8	0.0%	62.5%	25.0%	12.5%
	女性	17	11.8%	47.1%	23.5%	17.6%
年齢別	20歳代	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	30歳代	6	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%
	40歳代	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	50歳代	3	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
	60歳代	7	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
	70歳以上	4	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%

雑がみを分別しない理由について、「雑がみの出し方が分からない」が52.0%、「リサイクルできることを知らなかった」が24.0%という結果であった。

【水銀使用製品について】

問3 1 ご家庭に、水銀体温計・水銀血圧計がありますか。 ※1つのみ回答



		回答者数	両方ある	体温計がある	血圧計がある	どちらもない	無回答
全体		134	3.0%	18.7%	2.2%	73.9%	2.2%
性別	男性	44	4.5%	20.5%	0.0%	70.5%	4.5%
	女性	90	2.2%	17.8%	3.3%	75.6%	1.1%
年齢別	20歳代	13	0.0%	15.4%	0.0%	84.6%	0.0%
	30歳代	21	0.0%	4.8%	4.8%	90.5%	0.0%
	40歳代	23	0.0%	4.3%	0.0%	91.3%	4.3%
	50歳代	20	0.0%	20.0%	5.0%	75.0%	0.0%
	60歳代	29	10.3%	24.1%	3.4%	62.1%	0.0%
	70歳以上	28	3.6%	35.7%	0.0%	53.6%	7.1%

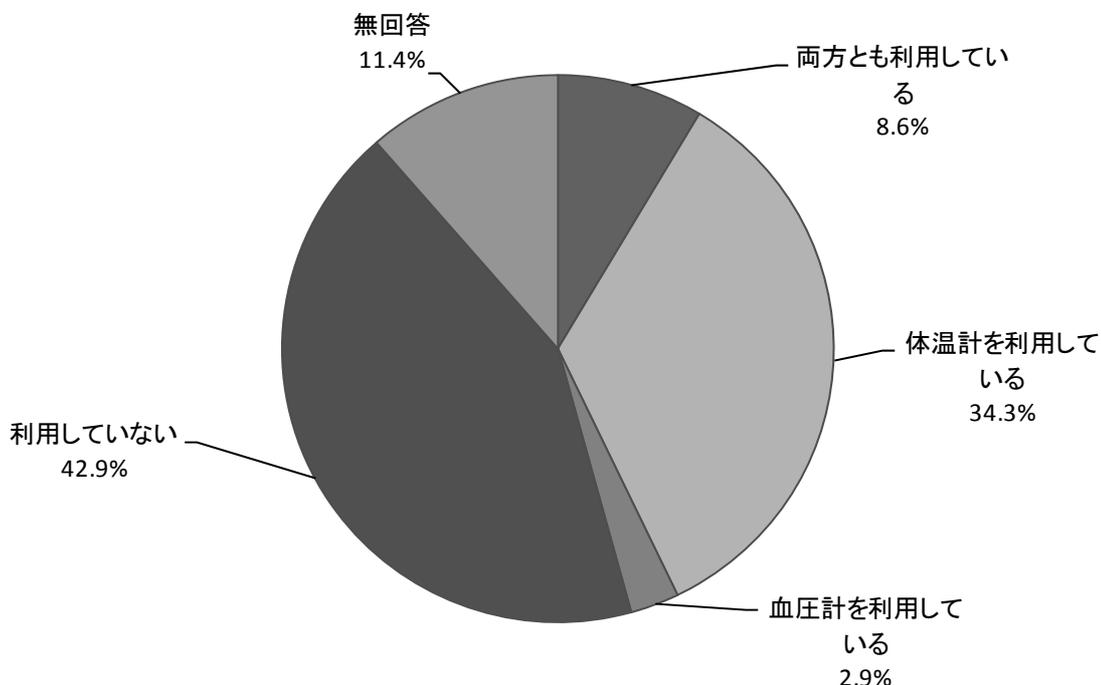
水銀体温計・血圧計が家庭にないとの回答が73.9%であり、体温計だけがあるとの回答が18.7%であった。

年齢別に見ると、若年層の方が「どちらもない」と回答した割合が高い傾向にある。水銀体温計については、35.7%があると回答した70歳代が最も高い一方、20歳代でも15.4%があるとの結果であった。

<問31で「4 どちらもない」以外を選んだ方にお尋ねします。>

問32 ご家庭に水銀体温計・水銀血圧計がある場合、まだ利用していますか。

※1つのみ回答



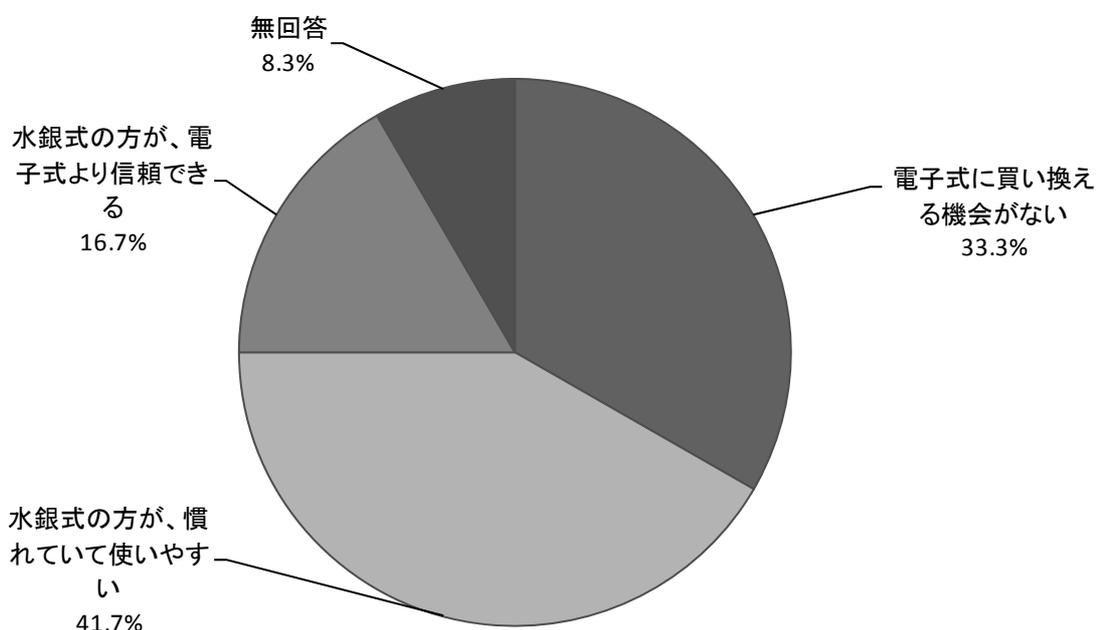
		回答者数	両方とも利用している	体温計を利用している	血圧計を利用している	利用していない	無回答
全体		35	8.6%	34.3%	2.9%	42.9%	11.4%
性別	男性	13	15.4%	38.5%	0.0%	30.8%	15.4%
	女性	22	4.5%	31.8%	4.5%	50.0%	9.1%
年齢別	20歳代	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	40歳代	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	50歳代	5	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%
	60歳代	11	18.2%	27.3%	9.1%	36.4%	9.1%
	70歳以上	13	7.7%	53.8%	0.0%	23.1%	15.4%

水銀体温計・血圧計の利用状況について、「家にはあるが利用していない」が42.9%、「体温計を利用している」が34.3%であった。

体温計の利用状況を年齢別に見ると、40歳代以下では利用していない一方で、50歳代以上では一定の割合で利用されており、70歳代では半数以上が利用しているという結果であった。

＜問32で「2 体温計を利用」を選んだ方にお尋ねします。＞

問33 現在も水銀体温計を使っている理由は何ですか。※1つのみ回答

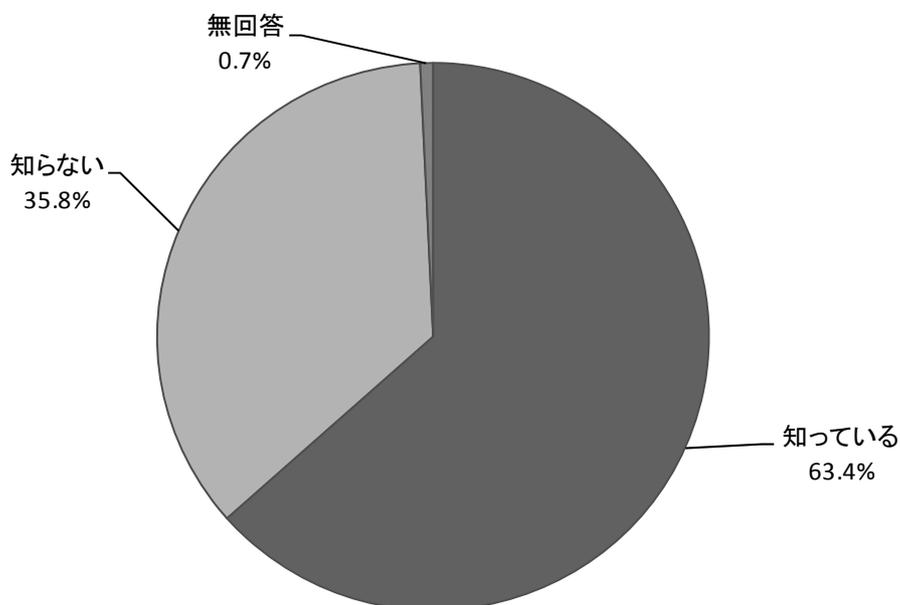


		回答者数	電子式に買い換える機会がない	水銀式の方が、慣れていて使いやすい	水銀式の方が、電子式より信頼できる	無回答
全体		12	33.3%	41.7%	16.7%	8.3%
性別	男性	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	女性	7	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%
年齢別	20歳代	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	2	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	60歳代	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	70歳以上	7	42.9%	42.9%	0.0%	14.3%

現在も水銀体温計を使っている理由について、「慣れていて使いやすい」が41.7%と最も高く、次いで「電子式に買い換える機会がない」が33.3%、「電子式より信頼できる」が16.7%であった。

【適正処理くスプレー缶について】

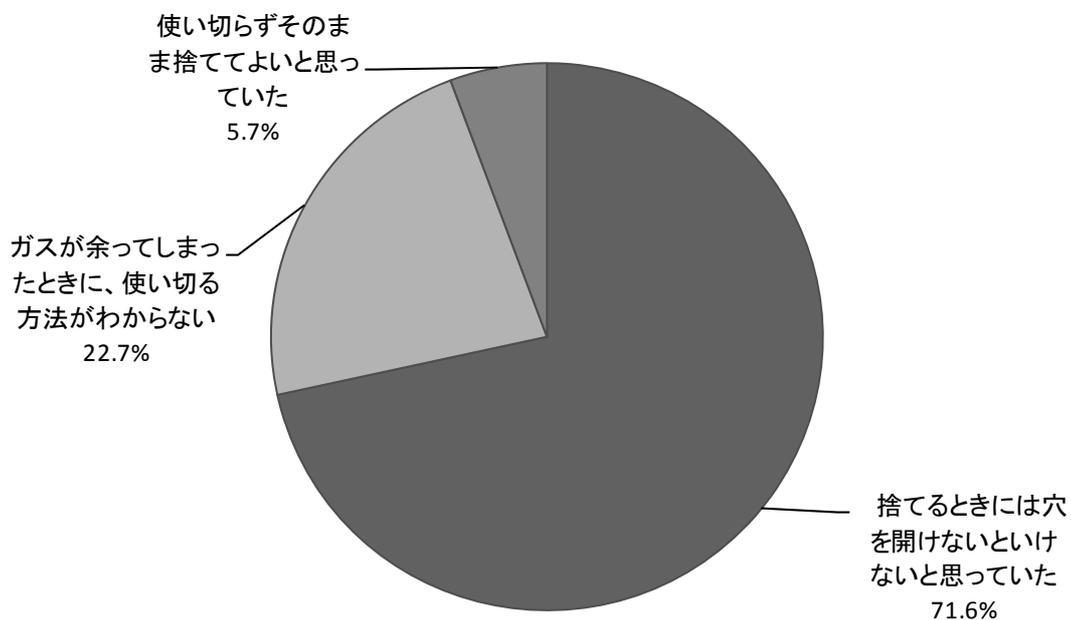
問34 スプレー缶を捨てるときに穴を開けると、ガスの引火による火傷や火事などの危険があることから、北九州市では、「穴を開けずに使い切って捨てる」ようお知らせしていますが、知っていますか。※1つのみ回答



		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		134	63.4%	35.8%	0.7%
性別	男性	44	59.1%	40.9%	0.0%
	女性	90	65.6%	33.3%	1.1%
年齢別	20歳代	13	46.2%	53.8%	0.0%
	30歳代	21	57.1%	42.9%	0.0%
	40歳代	23	60.9%	39.1%	0.0%
	50歳代	20	75.0%	25.0%	0.0%
	60歳代	29	75.9%	24.1%	0.0%
	70歳以上	28	57.1%	39.3%	3.6%

スプレー缶の捨て方について、市のルールを知っているとの回答が63.4%であった。

問35 市がお知らせする方法以外の方法で捨てている場合、その理由は何ですか。 ※1つのみ回答



		回答者数	捨てるときには穴を開けないといけないと思っていた	ガスが余ってしまったときに、使い切る方法がわからない	使い切らずそのまま捨ててよいと思っていた
全体		88	71.6%	22.7%	5.7%
性別	男性	35	71.4%	20.0%	8.6%
	女性	53	71.7%	24.5%	3.8%
年齢別	20歳代	7	85.7%	14.3%	0.0%
	30歳代	13	76.9%	15.4%	7.7%
	40歳代	19	73.7%	26.3%	0.0%
	50歳代	13	46.2%	38.5%	15.4%
	60歳代	14	71.4%	21.4%	7.1%
	70歳以上	22	77.3%	18.2%	4.5%

スプレー缶を市のルール以外の方法で捨てた理由について、「穴を開けないといけないと思っていた」が71.6%と最も高く、次いで「ガスを使い切る方法が分からない」が22.7%、「使い切らずに捨ててよいと思っていた」が5.7%の順であった。

【その他】

問36 これまで、ごみの処分やリサイクルをするときに不便と感じたことなど、北九州市のごみ処理・リサイクルにご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

71人の方からご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

【リサイクルについて】

- ・生ごみ堆肥の回収が出来るのであれば活用してみたい。古着回収もクリーニング店で出来るのであれば持ち込みたい。
- ・家電は、リサイクルをするより無料引き取り業者が日常的にトラックで巡回しているためそちらに引き渡す方が楽だと感じます。
- ・プラスチックごみの中袋が欲しい。小だとすぐたまるし大だとなかなか貯まらないでかさばる
- ・雑がみで、箱にビニールコーティングしてあるものも含んでいいのかわからない。
- ・プラスチック製容器包装リサイクルで、シャンプーなどの容器をきれいに洗わないといけないのか、袋の汚れ（入っていた食品の）がどの程度ついていいのか、お菓子の袋などで、内側がアルミになっているものをプラごみで出していいのかどうかかわからない。
- ・古紙奨励金は町内会の貴重な財源であり、自治会離れが進むなか本当に有難い。ただし、保管庫について消防法との関連で大きい倉庫が導入しづらい。倉庫に関して予算を組んでほしい。
- ・古着の回収方法が不明です。回収手順、場所がわかると協力できるのですが。
- ・車の運転をしないので、近くの市民センターで古着の回収を早く始めてほしいと思う。
- ・市がリサイクルなどに力を入れているのは知っているが、私たちがどのように処分したり、活動したら良いかなど細かい事が知られていないので、場所や方法などの告知を分かりやすくした方が良いと思う（店頭ステッカーや冊子など）。

- ・北九州市のごみ処理・リサイクルに対する意識はとても高いと感じています。ひとつひとつの家庭がしっかり取り組めばより効果があると思います。古着のリサイクルはとても役に立っています。

【分別収集について】

- ・ゴミ捨ての時間が生活スタイルに合わない。できれば夜に回収するか、夜間からゴミを出してもよいようにしてほしい。
- ・捨て方の分からないゴミがある。具体的な捨て方などをインターネットの動画などを利用してもっとわかりやすく説明してほしい。
- ・ダンボールや古紙の回収をどこでしているかわかりづらい。以前、公民館に持って行ったが回収場所がわからなかった。
- ・ごみステーションでのゴミ捨てマナーが悪い。鳥害対策（カラス駆除）を推進してほしい。
- ・プラなどの処理に費用がかからなくなるので、徒歩圏内に資源化物の回収ボックスを増やして欲しい。
- ・リサイクル等の課題よりも、ごみ置き場の問題が一番。誰がゴミ置き場を管理するのか？清掃、置き場の備品等のメンテ、違法ゴミを誰が処分するのか？
- ・家庭ごみステーションに防鳥ネットを使っていますが、最近は収集車の方が丁寧に掃除されて行かれますので、皆さん助かっています。
- ・大型ごみの回収が、各地域月に1度（1日）という設定を変えて増やして欲しい。
- ・家庭ごみ、資源化物のごみの区別がたまに難しいときがある。フライパンなどは市民センターに持っていくなど、調べないといけないのが少し不便。身近なごみについては、ポスターなどに記載してキッチンに貼れるようにしたいなと思うことがあります。
- ・祭日もごみ収集に来ていただき感謝しています。

【その他】

- ・ 事業用のゴミ収集は、分別の意識があまりないように感じる。家庭用のみ分別を行うのでは意味がないと思うので、事業用のゴミ分別も力を入れるべきと考えます。事業者にとってもゴミ処理費用が減るのであれば、協力してくれるはずと思います。
- ・ 製造者、販売者への3Rの徹底をするべきであると考え。特にスーパー、コンビニエンスストアは自店が販売したものによってごみが発生しているのだからごみ処理費用の負担を多く強いる必要があると思う。特に大規模小売店は自らが回収するのだけではなく行政のごみ回収費用へも負担をすべきだと思う。
- ・ 分別回収当初、近所の方と監視をし、トラブル発生時は環境局に電話して解決してもらった。家庭ごみのネット使用前は、大変な清掃作業であったが、朝の清掃作業を日課としボランティアを30数年続けています。
- ・ リユース、リサイクル、コンポストとがんばっていますが、分別や管理は、本当にめんどくさいです。リサイクルに分別するのも手間がかかりますし、種類など分からなくなると、時々まざったりしてしまいます。やはり、「リデュース」で、買わない、家に持ち込まないのが一番だと思っています。コンポストは、タカクラ式を使用して3年ほどですが、虫のこと以外は、ゴミを減らせることに役立っています。できる時はする、できない時はしなくても大丈夫。できる人はするで良いと思います。
- ・ 食品にしろ家電にしろ、「ごみ」にするのではなく「資源」とする意識をもって回収場所を増やす、分かりやすくする、回収を手軽でお得なものにする、例えば、日立の製品を日立の回収センターへ持って行けば、日立製品の割引券がもらえる等、美しい環境を後世に残せるよう、市民と市政と力を合わせ努力していきたいと思っています。

IV 全体考察

北九州市では、持続可能な社会の実現に向け、従来の「循環型」の取組みに「低炭素」、「自然共生」の取組みを加えた「北九州市循環型社会形成推進基本計画」を平成23年に策定した。

その後の国における新たな動向や本市のごみ処理状況などを踏まえ、新たな課題に適切に対応するため、28年8月に計画を改定し、3Rの取組みをさらに推進することにしており、今後の廃棄物行政の参考とするため、アンケート調査を実施した。

【レジ袋の削減について】

レジ袋削減に環境保全効果があることについては、全ての年代において、ほぼ全員が「知っている」という結果であった。

また、買い物時のマイバッグ持参については、5割以上の頻度で持参する割合が全ての年代で70%以上であり、レジ袋削減の取組みが一定程度定着していることがわかった。

【食品ロスについて】

「食品ロス」については7割が知っており、北九州市の「残しま宣言」運動については「知っている・聞いたことがある」と「知らない」がほぼ半々であり、高年齢層ほど認知度・意識が高い傾向であることがうかがえた。

また、食品ロスを減らすよう、9割以上が一定程度の意識を持って取り組んでいるという中で、食品ロスの発生原因については、家庭では「冷蔵庫に入れて忘れていたうちに期限が切れてしまった」、宴会の席等では「提供される量が多いため」と考えている人が最も多いということがわかった。

【生ごみコンポストについて】

生ごみコンポストについては、6割以上が「取り組んだことがない」との回答であり、年齢別で見ると、若年層ほど生ごみコンポストの認知度が低い一方で、70歳代以上では7割以上が取り組んだことがあるという結果であった。

生ごみコンポストに取り組まない理由では、「できた堆肥を利用する機会がない」が最も多い一方で、生ごみ堆肥回収事業を利用して取組みを始める可能性がある人が4割程度いることがわかった。

【リユースについて】

リユースがリサイクルより優先度の高い取組みであることについては、6割以上が知っているという結果であり、年齢別に見ると、高年齢層ほど環境に優しい取組みと感じず、リユースしたことがない傾向が強い一方、20歳代のフリーマーケットやネットオークションの利用率が高かった。

【リサイクルについて（古着・家電・古紙）】

全体的に、高年齢層ほどリサイクルの認知度が高く、分別に取り組んでいる傾向にあるという結果であった。古着や雑がみの分別をしていない主な理由としては、回収場所や出し方が分からないというものであった。

【水銀体温計等について】

「水銀体温計・血圧計が家庭にない」との回答が、7割以上という結果であった。

一方、水銀体温計を持っている家庭では3割以上がまだ使用しており、高年齢層ほど慣れていて使いやすいこと等から、よく使われている状況がうかがえた。

【まとめ】

今回のアンケートにより、これから3R施策を進める上で主要な課題となる事項について、市民の意識や取組み状況を知ることができた。

このアンケート結果を参考に、今後も市民の声に耳を傾けながら、持続可能な社会の形成に向けた取組みを進めていきたい。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局市民総務部広聴課（TEL：582-2527）

【アンケートに関すること】

環境局循環社会推進部循環社会推進課（TEL：582-2187）